船員保険事業(健康づくりの支援) に関するアンケート 報 書(船舶所有者調査)

令和 2 年 (2020年) 3 月 全国健康保険協会 船員保険部

目 次 第1章 調査の概要

第 :	1 :	章 調査の機要 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		1.調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2.調査の項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		3.調査の設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		4. 回収結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		5. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
]	Ι	報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第2	2 =	章 調査結果の分析
	I	「生活習慣病予防健診」について(問1~問8) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		1.「生活習慣病予防健診」の受診料が無料で受けられることの周知度 ・・・・・・・・・・・・・・・
		2.「生活習慣病予防健診」の受診状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		3.「生活習慣病予防健診」の満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
		4.「生活習慣病予防健診」に満足している理由
		5.「生活習慣病予防健診」を不満とした理由 ······ 1.
		6.「生活習慣病予防健診」のパンフレット・受診券の受け取り状況・・・・・・・・・10
		7.「生活習慣病予防健診」のパンフレット・受診券の配付状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		8. パンフレット・受診券を配付しなかった理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
]	Ι	「健康証明書」の写しの提供について(問9~問11)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		1.生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2. 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		3.「健康証明書」欄の写しの提供が難しい最も大きな理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ι	Π	
		1.「巡回健診」の利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2.「巡回健診」の未利用理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ι		「特定保健指導」について (問 14~問 19) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		1.「特定保健指導」の周知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2. 「特定保健指導」の利用満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		3. 「特定保健指導」に満足している理由 ······ 3.
		4. 「特定保健指導」を不満とした理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		5.「特定保健指導」の利用意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		6.「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7	V	「出前健康講座」について (問 20~問 23) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		1. 「出前健康講座」の周知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2. 「出前健康講座」を知ったきっかけ 4:
		3. 「出前健康講座」で取り扱うテーマ(メンタルヘルス講座)の周知度・・・・・・・・・・・・4
		4. 申し込んでみたい「出前健康講座」のテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7	Л	
		1. 自社船員の生活習慣上の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2. 自社船員の健康づくりのための取り組み状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
		3. 自社船員の健康づくりのための取り組み内容 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		4. 自社船員の健康づくりに取り組まれていない理由 ······ 5.
		5. 健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援・・・・・・・・・・ 50
		6. 喫煙者の割合····································
		♥ + フ()-12 D 12 D 12

7.「オンライン禁煙プログラム」の周知度 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 61	
8.「オンライン禁煙プログラム」の利用意向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
9. 自社船員の健康管理に関する課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
VII 「船員保険の広報活動」について(問 33)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.船員保険の活動に関する情報取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
I 健康づくりに関する意見·要望(自由回答) ······ 69	
第4章 調査票	
「船員保険事業(健康づくりの支援)に関するアンケート」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 79	

第1章 調査の概要

Ι 調査の概要

1.調査の目的

全国健康保険協会船員保険部(以下、「協会」という。)では、船員保険加入者が生活習慣病予防等を図り、将来にわたって健康に暮らすことができるよう、第2期船員保険データヘルス計画に基づいて健診等の実施体制の拡充や費用負担の軽減等、健康づくりを支援する取組みを総合的に推進してきた。

今後、船員保険加入者及び船舶所有者(以下、「加入者等」という。)の健康意識を高め、行動変容に繋げるための施策として、船舶所有者と協働した船員保険加入者の健康づくり(以下「コラボヘルス」という。)を積極的に推進していくこととしており、そのためには加入者等の理解や協力が不可欠であることから、加入者等が船員保険に求める保健事業のニーズや、生活習慣病予防健診の受診及び特定保健指導利用の阻害要因等を把握することで、コラボヘルスへの取組みや健診事業の推進に向けた施策を検討することを目的として本調査を実施した。

2.調査の項目

- ① 「生活習慣病予防健診」について
- ② 「健康証明書」の写しの提供について
- ③ 「巡回健診」について
- ④ 「特定保健指導」について
- ⑤ 「出前健康講座」について
- ⑥ 「船員の健康づくりの取り組み」について
- ⑦ 「船員保険の広報活動」について
- ⑧ 自由意見
- ⑨ 船舶所有者の概要について

3.調査の設計

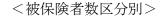
- ・調 査 対 象: 令和元年11月27日時点で被保険者が1人以上在籍する全船舶所有者
- ·調査対象数: 4,361社
- ・調 査 方 法:郵送による調査票配布-郵送回収またはインターネットによる回答 (督促はがきを1回送付)
- ・調査期間:令和2年1月20日(月)~2月17日(月)(調査票の回答締切は、令和2年2月7日(金))

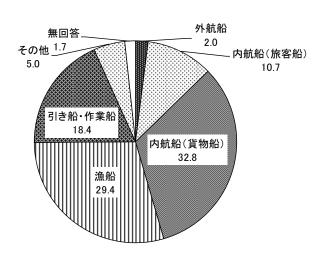
4. 回収結果

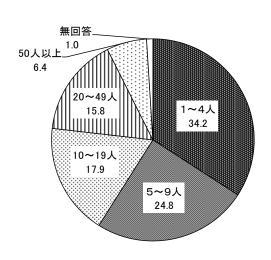
回収結果	件数	率
調査対象数	4, 361	
有効回収数	2, 298	52. 7%
(インターネット回答)	462	10.6%
(紙回答)	1, 836	42.1%

5. 回答者の属性

<事業内容別>







n = 2,298 % n = 2,298 %

【事業内容別】では、「内航船(貨物船)」が32.8%で最も高く、以下「漁船」(29.4%)、「引き船・作業船」(18.4%)の順に続いている。

【被保険者数区分別】では、「 $1\sim4$ 人」が34.2%で最も高く、以下「 $5\sim9$ 人」(24.8%)、「 $10\sim19$ 人」(17.9%)の順に続いている。

Ⅱ 報告書の見方

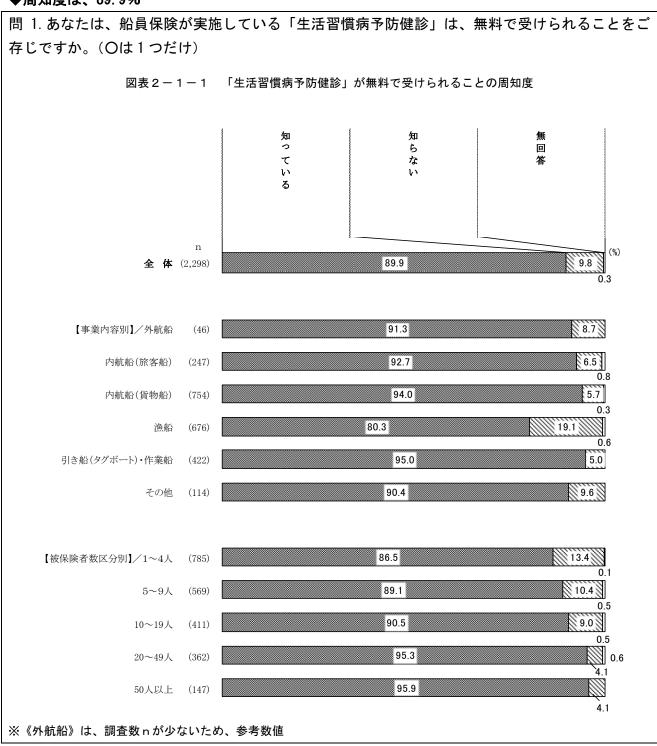
- ○図表中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- ○調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数(100.0%)として、小数点第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- ○図表中、回答のなかった選択肢は「・」として表記している。なお、帯グラフについては、 グラフの見やすさの点から、「・」を表記していない場合がある。
- ○複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える。
- ○クロス集計の表側では、表側とした質問の「無回答」は表示していないため、各回答選択肢 の回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない。
- ○回答選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。

---- 第2章 調査結果の分析

I 「生活習慣病予防健診」について(問1~問8)

1.「生活習慣病予防健診」の受診料が無料で受けられることの周知度

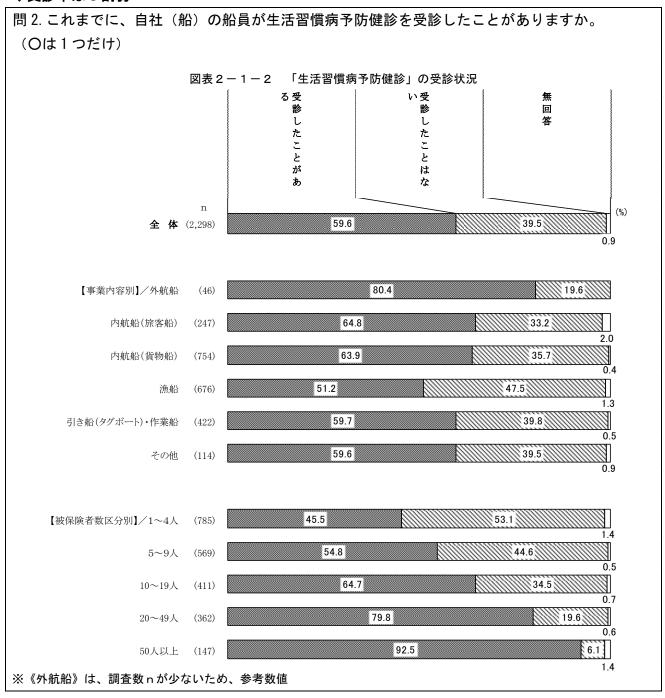
◆周知度は、89.9%



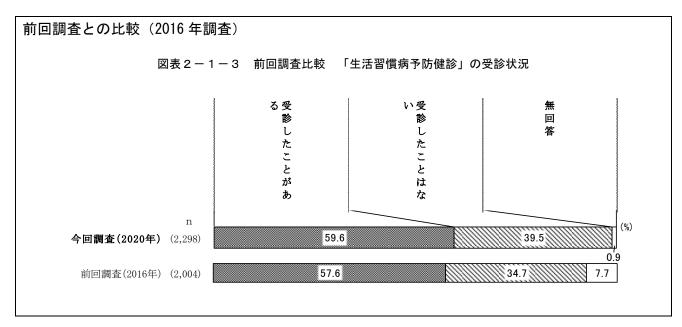
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」を「知っている」は、89.9%で周知度は高くなっている。【事業内容別】にみると、「知っている」は、漁船でやや低くなっている。【被保険者数区分別】でみると、被保険者数が上がるほど周知度は高くなっている。(図表2-1-1)

2. 「生活習慣病予防健診」の受診状況

◆受診率は6割弱



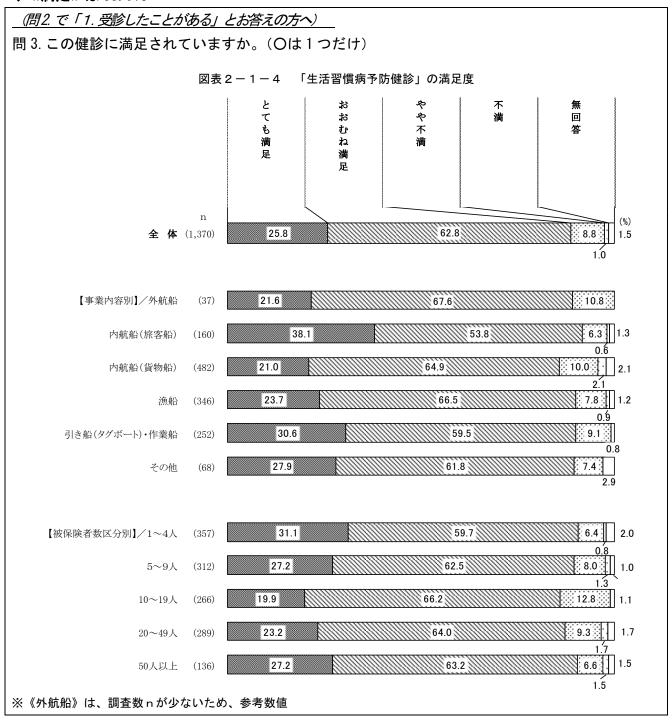
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」を「受診したことがある」割合は、59.6%で受診率は6割弱を占めているが、「受診したことはない」も39.5%と4割弱を占めている。【事業内容別】にみると、「受診したことがある」は、漁船が低くなっている。【被保険者数区分別】でみると、被保険者数が上がるほど受診率は高くなっている。(図表2-1-2)



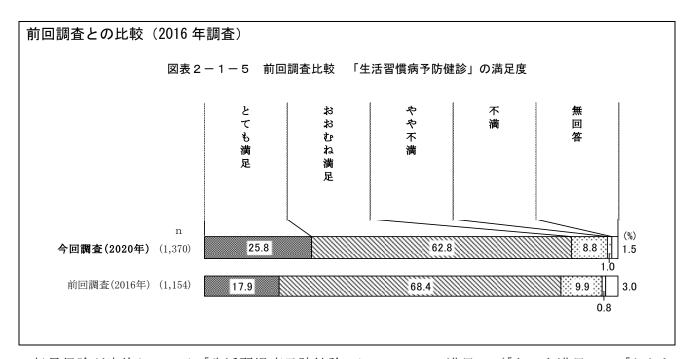
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」について「受診したことがある」は、前回調査の 57.6%から今回調査の 59.6%へと、2 ポイント増加している。(図表 2 - 1 - 3)

3. 「生活習慣病予防健診」の満足度

◆≪満足≫は88.6%



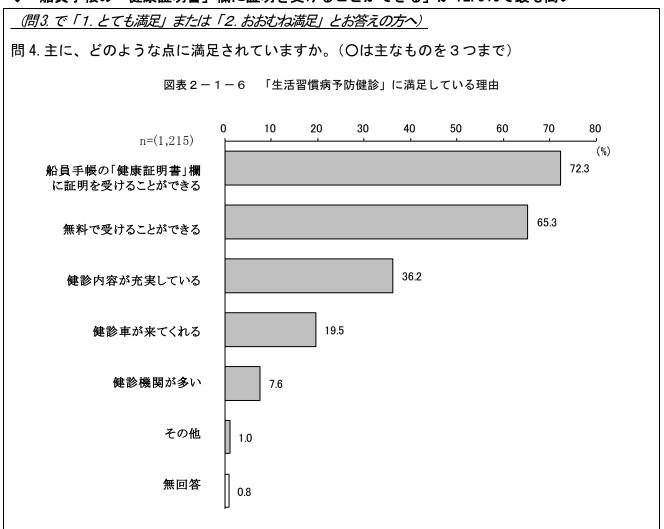
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」について、《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は、88.6%と、満足感は高くなっている。【事業内容別】にみると、「とても満足」は、内航船(旅客船)で 38.1%と最も高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「とても満足」は、 $1\sim4$ 人区分で最も高くなっている。一方、「やや不満」は、 $10\sim19$ 人区分で高くなっている。(図表 2-1-4)



船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」について、《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は、前回調査の86.3%から今回調査の88.6%へと、2.3 ポイント増加している。特に、「とても満足」している割合は、前回調査の17.9%から今回調査の25.8%へと7.9 ポイント増加している。(図表2-1-5)

4. 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

◆「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が 72.3%で最も高い



船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」について、満足している理由を3つまで回答してもらった。

「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が 72.3%で最も高く、以下「無料で受けることができる」(65.3%)、「健診内容が充実している」(36.2%)、「健診車が来てくれる」(19.5%)、「健診機関が多い」(7.6%)、となっている。(図表 2 - 1 - 6)

...前回調査(2016 年)について......

前回調査は、選択肢に「無料で受けることができる」が無く、「費用が安い」という選択肢で満足している理由を把握した。

選択肢が異なるため、参考ではあるが、前回の結果は、「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」(72.8%)、「健診内容が充実している」(41.0%)、「費用が安い」(41.0%)の順で上位3位となっており、第1位は変わっていない。

図表2-1-7 事業内容別・被保険者区分別「生活習慣病予防健診」に満足している理由

単位:%

									単位:%
		調査数	健診内容が充実している	健診機関が多い	とができる 欄に証明を受けるこ船員手帳の「健康証明	健診車が来てくれる	無料で受けることができ	その他	無回答
全	体	1, 215	36. 2	7. 6	72. 3	19.5	65. 3	1.0	0.8
	外航船	33	36. 4	18. 2	72.7	-	75.8	-	3. 0
事	内航船 (旅客船)	147	34.0	5. 4	72. 1	23.8	68.7	0.7	-
業内	内航船(貨物船)	414	35. 7	10. 1	72.5	4.1	67. 9	1.2	0.7
容	漁船	312	30. 1	5.4	72.8	48.7	59. 3	1.3	1. 0
別	引き船(タグボート)・作業船	227	50. 2	6.2	71.8	7. 5	63. 9	0.4	0. 9
	その他	61	27. 9	6.6	72. 1	16.4	72. 1	1.6	_
被	1~4人	324	39. 2	8.0	66. 4	19.4	65.4	0.6	0.3
保険	5~9人	280	37. 9	10. 4	71. 4	17. 1	61.8	0. 7	1. 1
険者 数区	10~19人	229	34. 9	7. 9	75. 5	21.0	61. 6	2. 2	0.9
区分	20~49人	252	31. 0	6.0	77. 4	20. 2	69. 4	0.8	0.4
別	50人以上	123	38. 2	3. 3	74.8	20.3	73. 2	0.8	0.8

※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

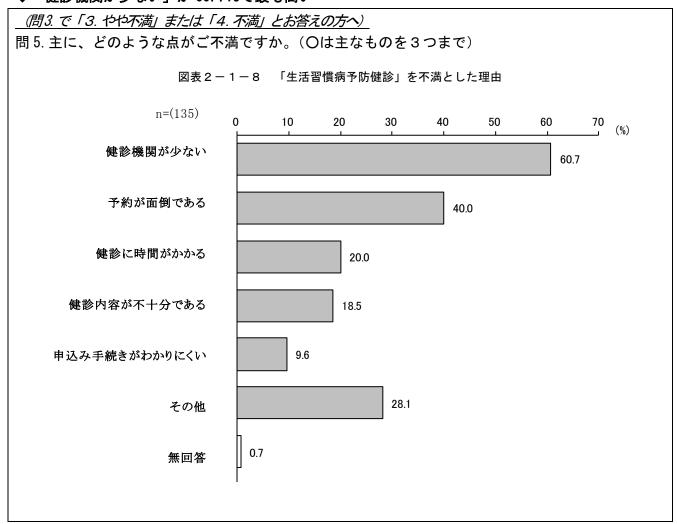
- ・「健診内容が充実している」は、引き船 (タグボート)・作業船が 50.2%であり、他の事業内容 と比べて最も高くなっている。
- ・「健診機関が多い」は、外航船と内航船(貨物船)で高くなっている。
- ・「健診車が来てくれる」は、漁船が48.7%で最も高くなっている。

【被保険者数区分別】にみると、

・「健診機関が多い」は、 $5\sim 9$ 人区分が 10.4% であり、他の区分と比べて高くなっている。 (図表 2-1-7)

5. 「生活習慣病予防健診」を不満とした理由

◆「健診機関が少ない」が60.7%で最も高い



船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」について、不満とした理由を3つまで回答してもらった。「健診機関が少ない」が60.7%で最も高く、以下「予約が面倒である」(40.0%)、「その他」(28.1%)、「健診に時間がかかる」(20.0%)、「健診内容が不十分である」(18.5%)、となっている。

「その他」の中では、「下船予定が読めないことが多く、<u>先の予約ができない</u>」「天候次第で出漁する等、<u>間近にならないと健診に行ける日にちを決められない</u>」という理由が多くあげられている。(図表 2 - 1 - 8)

前回調査は、選択肢に「費用が高い」があった。

選択肢が異なるため、参考ではあるが、前回の結果においても、「健診機関が少ない」(70.7%)が第1位となっていた。

図表2-1-9 事業内容別・被保険者区分別「生活習慣病予防健診」を不満とした理由

単位:%

								単位:%_	
		調査数	健診内容が不十分である	健診機関が少ない	健診に時間がかかる	予約が面倒である	いり込み手続きがわかりにく	その他	無回答
全	体	135	18. 5	60. 7	20.0	40.0	9. 6	28. 1	0.7
	外航船	4	50.0	50.0	50. 0	-	25. 0	_	-
事	内航船 (旅客船)	11	27. 3	63. 6	9. 1	36. 4	9. 1	45. 5	-
業内	内航船(貨物船)	58	13.8	70.7	20. 7	53. 4	12. 1	20. 7	_
容	漁船	30	26. 7	33. 3	16. 7	30.0	10.0	36. 7	3. 3
別	引き船(タグボート)・作業船	23	8. 7	78. 3	21. 7	26. 1	_	30. 4	-
	その他	5	20.0	20.0	20. 0	60.0	20. 0	-	_
被	1~4人	26	34. 6	50.0	26. 9	23. 1	7. 7	15. 4	-
保険者数	5~9人	29	20. 7	69. 0	10. 3	34. 5	6. 9	17. 2	-
	10~19人	34	8.8	73. 5	23. 5	44. 1	17. 6	29. 4	-
区分	20~49人	32	12. 5	53. 1	21. 9	50.0	3. 1	46. 9	3. 1
別	50人以上	11	18. 2	54. 5	9. 1	45. 5	18. 2	9. 1	-

※調査数 n が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

・「健診内容が不十分である」は、内航船(旅客船)と漁船で高くなっている。

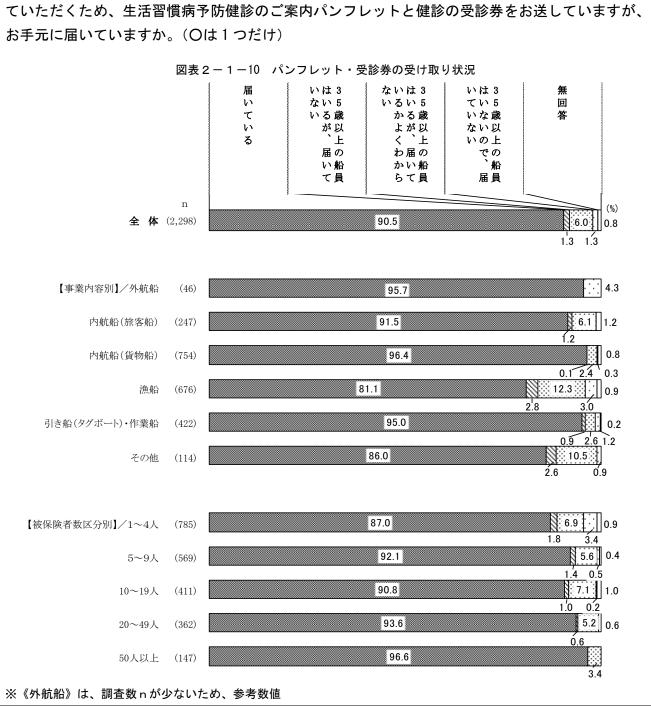
【被保険者数区分別】にみると、

- ・「健診内容が不十分である」は、 $1 \sim 4$ 人区分で 34.6% となっており、他の区分と比べて最も高くなっている。
- ・「申込み手続きがわかりにくい」は、 $10\sim19$ 人区分と 50 人以上区分で、高くなっている。 (図表 2-1-9)

6. 「生活習慣病予防健診」のパンフレット・受診券の受け取り状況

◆到着率は90.5%

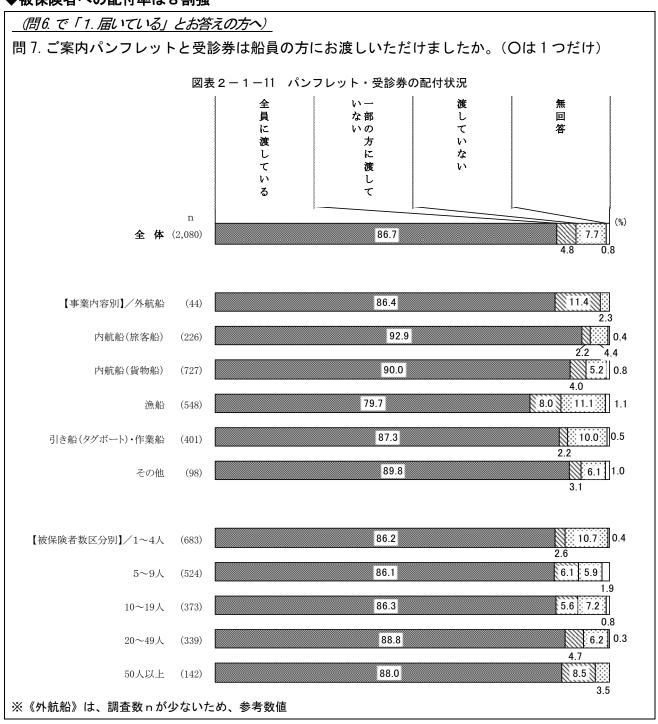
問 6. 船員保険では、毎年 4 月、船舶所有者の皆さまに、貴社(船)の 35 歳以上の船員の方に渡し ていただくため、生活習慣病予防健診のご案内パンフレットと健診の受診券をお送していますが、 お手元に届いていますか。(Oは1つだけ)



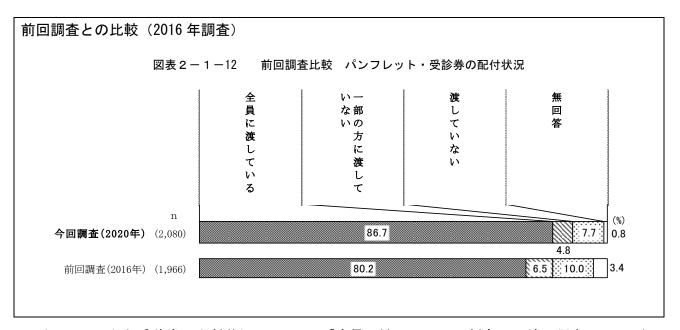
「生活習慣病予防健診」の案内パンフレットと受診券の到着率は90.5%となっている。【事業内容別】 にみると、「届いている」は、漁船で81.1%であり、他の事業内容と比べて到着率は低くなっている。 【被保険者数区分別】でみると、「届いている」が 50 人以上区分で 96.6%となっており、他の区分 と比べて到着率はやや高くなっている。(図表2-1-10)

7. 「生活習慣病予防健診」のパンフレット・受診券の配付状況

◆被保険者への配付率は8割強



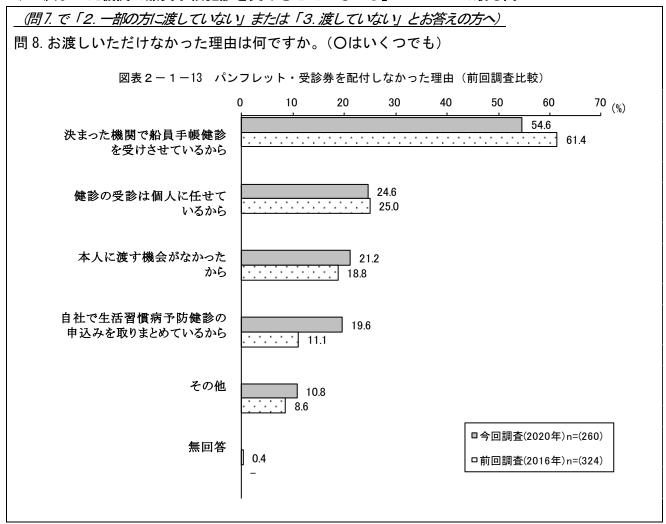
パンフレットと受診券の配付状況について、「全員に渡している」が 86.7%となっている。【事業内容別】にみると、「全員に渡している」が、漁船で 79.7%となっており、他の事業内容と比べてやや低くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「渡していない」は、 $1\sim4$ 人区分で 10.7%となっており、他の区分と比べて未配付の割合がやや高くなっている。(図表 2-1-11)



パンフレットと受診券の配付状況について、「全員に渡している」割合は、前回調査の 80.2%から今回調査の 86.7%へと 6.5 ポイント増加している。(図表 2-1-12)

8. パンフレット・受診券を配付しなかった理由

◆「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」が54.6%で最も高い



パンフレット・受診券を配付しなかった理由は、「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」が 54.6%で最も高く、30 ポイントの差で「健診の受診は個人に任せているから」(24.6%)、「本人に渡す機会がなかったから」(21.2%)、「自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから」(19.6%)、「その他」(10.8%)、となっている。

前回調査と比べると、「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」の割合は、6.8 ポイント減少している。一方で、「自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから」の割合は、前回調査の 11.1%から今回調査の 19.6%と 8.5 ポイント増加している。(図表 2-1-13)

図表 2-1-14 事業内容別・被保険者数区分別 パンフレット・受診券を配付しなかった理由

単位:%

		調査数	ているから手帳健診を受けさせ決まった機関で船員	任せているから健診の受診は個人に	りまとめているから防健診の申込みを取自社で生活習慣病予	かったから本人に渡す機会がな	その他	無回答
全	体	260	54.6	24. 6	19. 6	21. 2	10.8	0.4
	外航船	6	16. 7	50.0	33. 3	33. 3	16. 7	-
事	内航船 (旅客船)	15	46. 7	20.0	40.0	-	13. 3	-
業内	内航船(貨物船)	67	44. 8	37. 3	11. 9	25. 4	14.9	1.5
容	漁船	105	60.0	22. 9	16. 2	22. 9	8. 6	-
別	引き船(タグボート)・作業船	49	69. 4	6. 1	30. 6	12. 2	10.2	-
	その他	9	44. 4	22. 2	22. 2	22. 2	-	_
被	1~4人	91	67. 0	17. 6	17. 6	6. 6	11.0	1.1
保険	5~9人	63	58. 7	20. 6	15. 9	25. 4	14. 3	-
者 数	10~19人	48	45.8	33. 3	20.8	25.0	10.4	-
区分	20~49人	37	40. 5	29. 7	24. 3	37.8	5.4	_
別	50人以上	17	29. 4	35. 3	29. 4	35. 3	5.9	-

※調査数nが50未満は、数が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

- ・「健診の受診は個人に任せているから」は、内航船(貨物船)が37.3%であり、他の事業内容と 比べて高くなっている。
- ・「自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから」は、内航船(旅客船)が40.0%、引き船(タグボート)・作業船が30.6%であり、比較的高くなっている。

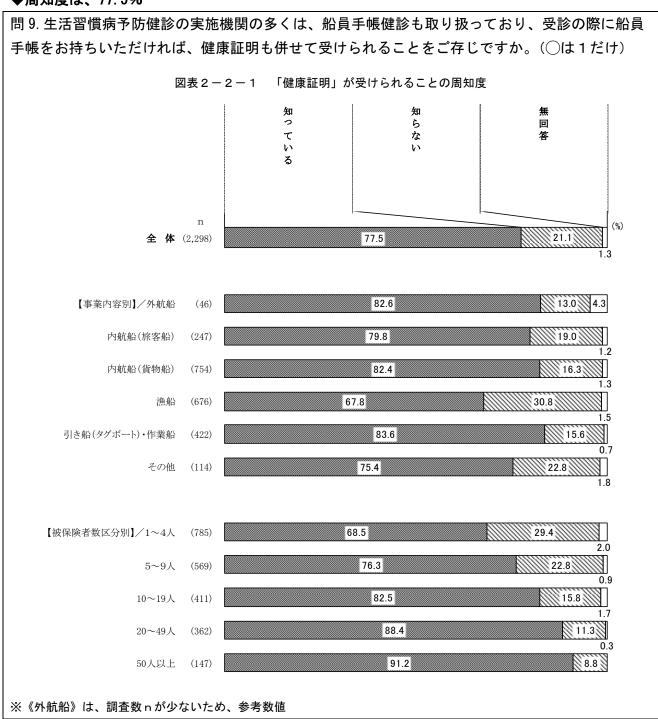
【被保険者数区分別】にみると、

- ・「健診の受診は個人に任せているから」は、50人以上区分が35.3%で、最も高くなっている。
- ・「自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから」は、50人以上区分が29.4%で、 最も高くなっている。
- ・「本人に渡す機会がなかったから」は、20~49 人区分と 50 人以上区分で高くなっている。 (図表 2 - 1 - 14)

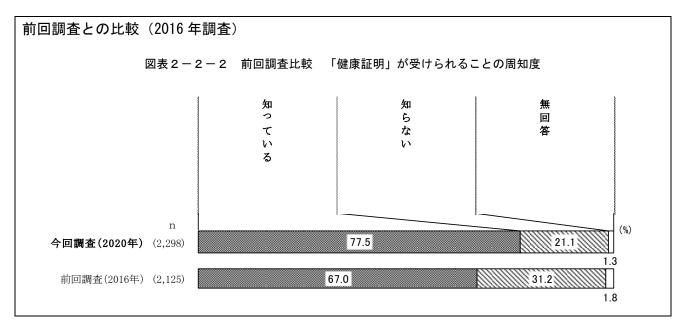
Ⅱ 「健康証明書」の写しの提供について(問9~問11)

1. 生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度

◆周知度は、77.5%



船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることを「知っている」割合は、77.5%となっている。【事業内容別】にみると、「知らない」割合は、漁船で30.8%となっており、他の事業内容と比べて高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「知らない」割合は、1~4人区分で29.4%となっており、他の区分と比べて高くなっている。(図表2-2-1)

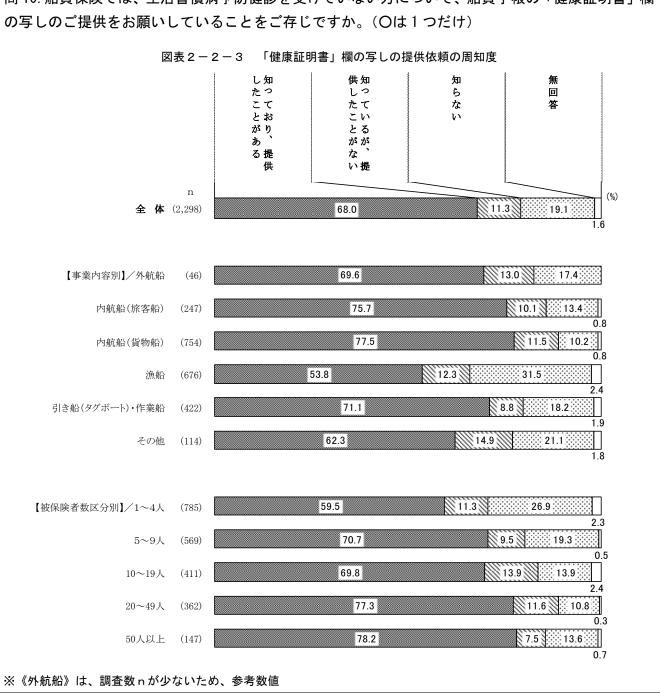


船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることを「知っている」割合は、 前回調査の67.0%から今回調査の77.5%へと10.5ポイント増加している。(図表2-2-2)

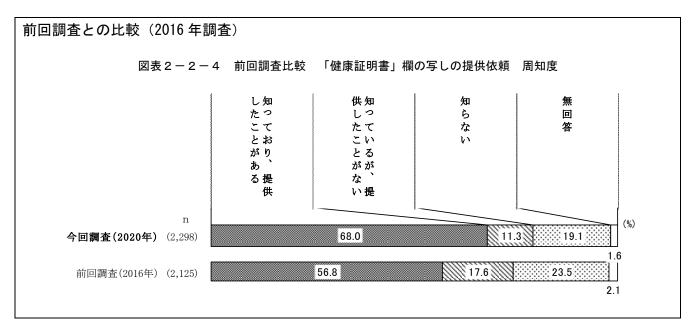
2. 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度

◆周知度は、79.3%。提供度は、68.0%。

問 10. 船員保険では、生活習慣病予防健診を受けていない方について、船員手帳の「健康証明書」欄



≪周知度≫ (「知っており、提供したことがある」+「知っているが、提供したことがない」) の 割合は、79.3%となっている。その中で、「知っており、提供したことがある」という提供度の割合 は、68.0%となっている。【事業内容別】にみると、「知らない」割合は、漁船で31.5%と最も高く なっている。【被保険者数区分別】でみると、「知らない」割合は、1~4人区分で26.9%と最も高 くなっている。(図表2-2-3)



《周知度》(「知っており、提供したことがある」+「知っているが、提供したことがない」)の割合は、前回調査の74.4%から今回調査の79.3%と4.9ポイント増加している。

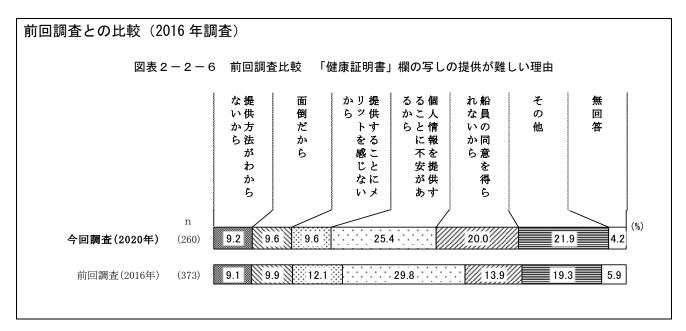
その中で、「知っており、提供したことがある」という提供度の割合は、前回調査の 56.8%から小今回調査の 68.0%と 11.2 ポイント増加している。(図表 2-2-4)

3.「健康証明書」欄の写しの提供が難しい最も大きな理由

◆「個人情報を提供することに不安があるから」が 25.4%で最も高い

(問10.で「2.知っているが、提供したことがない」とお答えの方へ) 問 11. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただけなかった最も大きな理由は何ですか。 (Oは1つだけ) 「健康証明書」欄の写しの提供が難しい理由 図表 2 - 2 - 5 な提 かり提 るる個 れ船 らッ供 回 い供 倒 な員 の かこ人 らと情 か方 だ トす いの ら法 をる に報 か同 が 6 不を ら意 威こ じと 安提 わ を か なに が供 得 6 ĥ いメ あす (%) 9.2 9.6 9.6 25.4 21.9 全 体 (260)//20.0/// 4.2 16.7 33.3 50.0 【事業内容別】/外航船 12.0 16.0 24.0 内航船(旅客船) (25)6.9 11.5 10.3 33.3 内航船(貨物船) (87) 3.4 4.8 16.9 漁船 (83)7.2 12.0 10.8 20.5% 8.1 27.0 18.9 18.9% 21.6 引き船(タグボート)・作業船 (37)2.7 23.5 その他 (17). 23.5 12.4 12.4 7.9 20.2 21.3 【被保険者数区分別】/1~4人 (89)3.4 11.1 7.4 9.3 25.9 18.5 20.4 7.4 5~9人 (54)10~19人 (57)7.0 15.8 19.3 24.6 28.1% 9.5 11.9 7.1 20~49人 40.5 (11) 9.1 9.1 9.1 9.1 9.1 50人以上 ※調査数nが50未満は、数が少ないため、参考数値

「健康証明書」欄の写しの提供が難しい最も大きな理由は、「個人情報を提供することに不安があるから」が 25.4%で最も高くなっている。【事業内容別】にみると、「提供方法がわからないから」は、引き船(タグボート)・作業船でやや高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「個人情報を提供することに不安があるから」は、20~49人区分と 50人以上区分でそれぞれ4割を超えている。(図表 2 - 2 - 5)



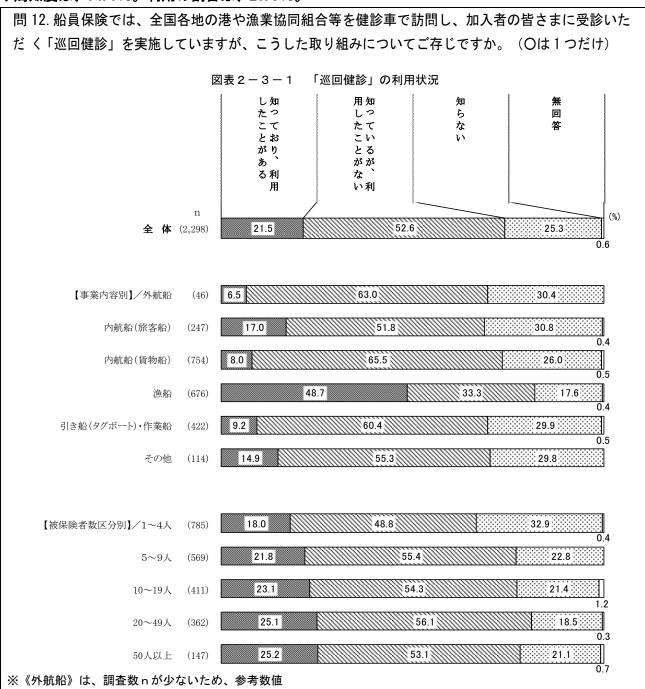
今回調査で最も高くなっている、「個人情報を提供することに不安があるから」は、前回調査の29.8%から4.4ポイント減少している。

一方で、「船員の同意を得られないから」割合が、前回調査の 13.9%から今回調査の 20.0% と 6.1 ポイント増加している。(図表 2 - 2 - 6)

Ⅲ 「巡回健診」について(問 12~問 13)

1. 「巡回健診」の利用状況

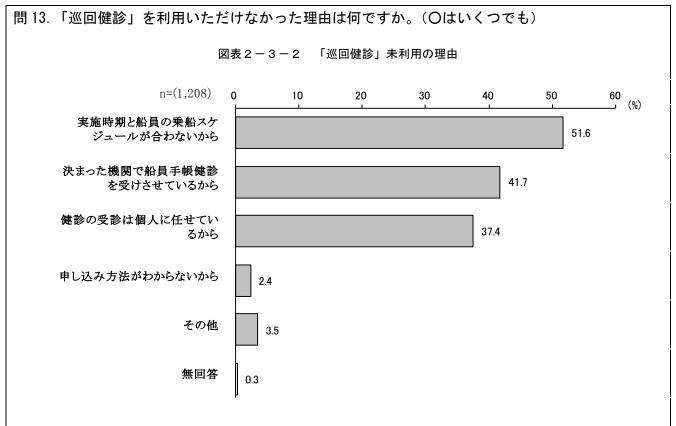
◆周知度は、74.1%。利用の割合は、21.5%。



《周知度》(「知っており、利用したことがある」+「知っているが、利用したことがない」)の割合は、74.1%となっている。「知っており、提供したことがある」という割合は、21.5%となっている。【事業内容別】にみると、漁船の利用率は48.7%となっており、他の事業内容と比べて高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、被保険者数が上がるほど利用割合は高くなっている。(図表2-3-1)

2. 「巡回健診」の未利用理由

◆ 「実施時期と船員の乗船スケジュールが合わないから」が 51.6%で最も高い



「巡回健診」を利用いただけなかった理由をすべて回答してもらった。

「実施時期と船員の乗船スケジュールが合わないから」が 51.6%で最も高く、以下「決まった機関 で船員手帳健診を受けさせているから」(41.7%)、「健診の受診は個人に任せているから」(37.4%)、「その他」(3.5%)、「申し込み方法がわからないから」(2.4%)、となっている。(図表 2 - 3 - 2)

図表2-3-3 事業内容別・被保険者数区分別 「巡回健診」未利用の理由

単位:%

								単位:%
		調査数	ているから手帳健診を受けさせ決まった機関で船員	任せているから健診の受診は個人に	わないから ルが合実施時期と船員の乗	らないから 申し込み方法がわか	その他	無回答
全	体	1, 208	41. 7	37. 4	51. 6	2. 4	3. 5	0.3
	外航船	29	24. 1	55. 2	51. 7	-	3. 4	3. 4
事	内航船 (旅客船)	128	50.8	40.6	36. 7	0.8	3.9	-
業	内航船(貨物船)	494	30. 4	45. 7	59. 1	2. 0	1.8	0.6
内容	漁船	225	51. 1	30. 2	49. 3	3. 6	5.8	-
別	引き船(タグボート)・作業船	255	48. 6	25. 1	47. 5	3. 5	5. 1	-
	その他	63	61.9	33. 3	46.0	1. 6	1.6	-
被保険者数	1~4人	383	54. 3	24.8	42.8	2. 3	6.0	-
	5~9人	315	43.8	37. 1	49.8	3.8	1.9	0.3
	10~19人	223	36. 3	42.6	57.0	1.8	3. 6	0.9
区分	20~49人	203	28.6	45.8	61.1	2.0	1.5	-
別	50人以上	78	21.8	61. 5	61. 5	_	2.6	1.3

※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

- ・「健診の受診は個人に任せているから」は、外航船で55.2%と最も高くなっている。
- ・「実施時期と船員の乗船スケジュールが合わないから」は、内航船(貨物船)で59.1%と最も高くなっている。

【被保険者数区分別】にみると、

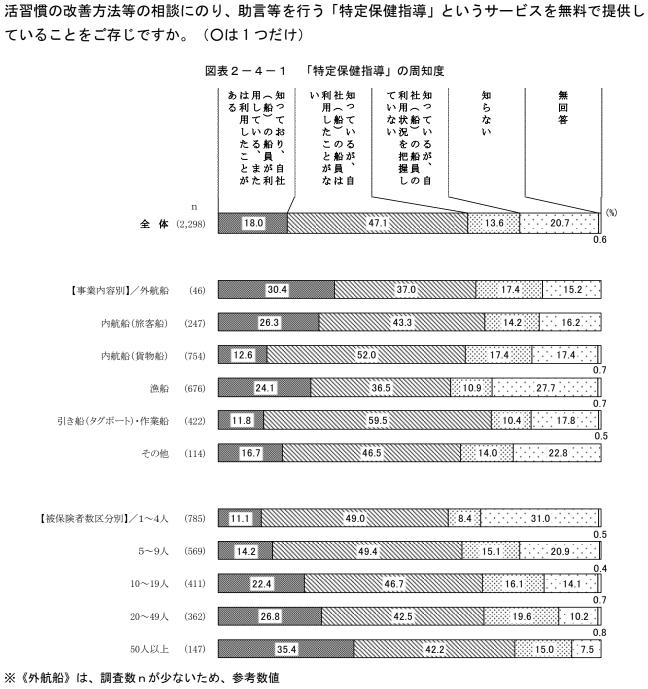
- ・「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」は、 $1 \sim 4$ 人区分で 54.3% と最も高くなっている。
- 「健診の受診は個人に任せているから」は、50 人以上区分で 61.5% と最も高くなっている。(図表2-3-3)

「特定保健指導」について(問14~問19) IV

1. 「特定保健指導」の周知度

◆周知度は78.7%。利用の割合は、18.0%。

問 14. 船員保険では、健診結果から、生活習慣の見直しが必要な方に対し、保健師等の専門家が生 活習慣の改善方法等の相談にのり、助言等を行う「特定保健指導」というサービスを無料で提供し ていることをご存じですか。(Oは1つだけ)



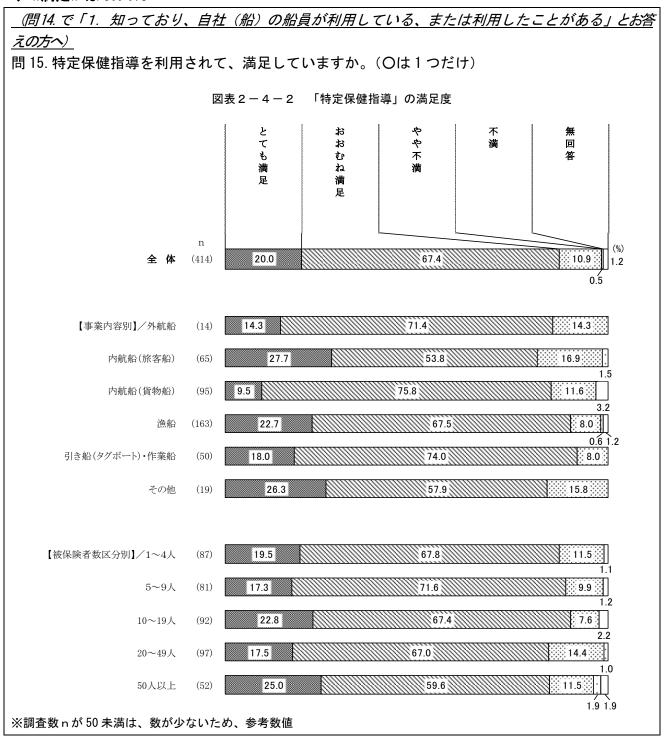
「特定保健指導」について、≪周知度≫(「知っており、利用しているまたは利用したことがある」 +「知っているが、利用したことがない」+「知っているが、利用状況を把握していない」)は、78.7% となっている。(図表2-4-1)

前回調査は、選択肢に「知っているが、自社(船)の船員の利用状況を把握していない」が無かった。

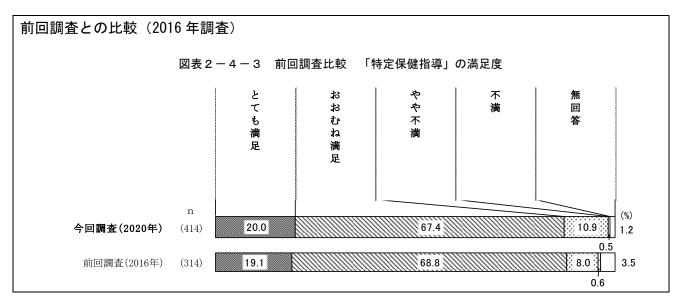
選択肢が異なるため、参考ではあるが、前回の結果は、「知っており、利用しているまたは利用したことがある」(14.8%)、「知っているが、自社(船)の船員は利用したことがない」(47.9%)、「知らない」(36.0%)となっており、周知度や実際の利用経験は、今回の調査結果と同じ傾向であった。

2. 「特定保健指導」の利用満足度

◆≪満足≫は87.4%



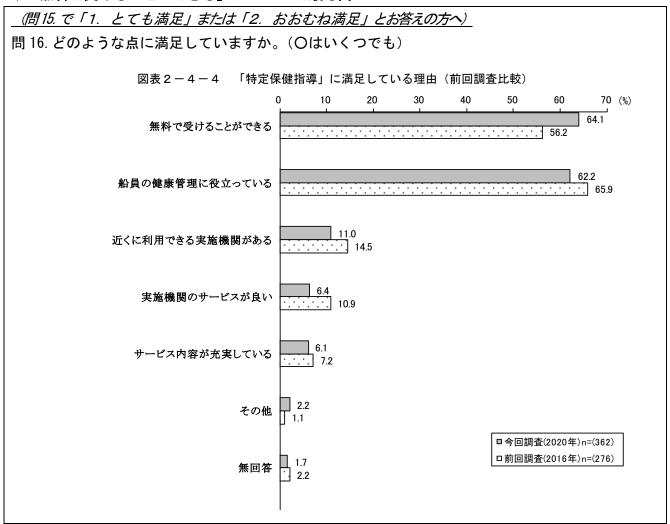
「特定保健指導」について、《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は、87.4%と、満足度は高くなっている。【事業内容別】にみると、「とても満足」が、内航船(旅客船)で27.7%となっており、他の事業内容と比べて高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「やや不満」について、 $20\sim49$ 人区分で 14.4%であり、他の区分と比べて高くなっている。(図表 2-4-2)



特定保健指導について、《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は、前回調査の87.9% から今回調査の87.4%へ0.5 ポイント減少しているが、大きな差は見られない。(図表 2 - 4 - 3)

3. 「特定保健指導」に満足している理由

◆「無料で受けることができる」が 64.1%で最も高い



「特定保健指導」に満足している理由をすべて回答してもらった。「無料で受けることができる」が 64.1%で最も高く、以下「船員の健康管理に役立っている」(62.2%)、「近くに利用できる実施機関がある」(11.0%)、「実施機関のサービスが良い」(6.4%)、「サービス内容が充実している」(6.1%) となっている。

特に、「無料で受けることができる」割合は、前回調査の56.2%から今回調査の64.1%へ7.9ポイント増加している。

(図表2-4-4)

留意すべき事項として、前回調査時は、「特定保健指導」の実施期間が6か月であり、今回調査時はこのサービスの実施期間は3か月である。そのため、質問や選択肢は前回調査から変更がないものの、サービス内容が変わっている。

図表2-4-5 事業内容別・被保険者数区分別 「特定保健指導」に満足している理由

単位:%

	·								単位:%
		調査数	施機関がある近くに利用できる実	しているサー ビス内容が充実	が良い 実施機関のサービス	できる無料で受けることが	立っている船員の健康管理に役	その他	無回答
全	体	362	11.0	6. 1	6. 4	64. 1	62. 2	2. 2	1. 7
	外航船	12	8.3	-	8.3	66. 7	41. 7	-	-
事	内航船 (旅客船)	53	7. 5	7. 5	11. 3	73. 6	66. 0	-	1. 9
業内	内航船(貨物船)	81	17. 3	6. 2	3. 7	65. 4	54. 3	7. 4	1. 2
容	漁船	147	9. 5	6.8	6. 1	53. 1	66. 7	1.4	2. 7
別	引き船(タグボート)・作業船	46	10. 9	4. 3	6. 5	80.4	56. 5	-	-
	その他	16	6. 3	6. 3	6. 3	75. 0	75. 0	-	-
被	1~4人	76	11.8	3. 9	9. 2	60. 5	53. 9	1. 3	6. 6
保険	5~9人	72	12. 5	9. 7	1.4	58. 3	56. 9	1.4	-
者 数	10~19人	83	9.6	8. 4	7. 2	63. 9	69. 9	3. 6	1.2
区分	20~49人	82	12. 2	4. 9	4. 9	67. 1	64. 6	2. 4	-
別	50人以上	44	6.8	2. 3	11. 4	75. 0	65. 9	2.3	-

※調査数nが50未満は、数が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

・「近くに利用できる実施機関がある」は、内航船(貨物船)で17.3%であり、他の事業内容と比べて高くなっている。

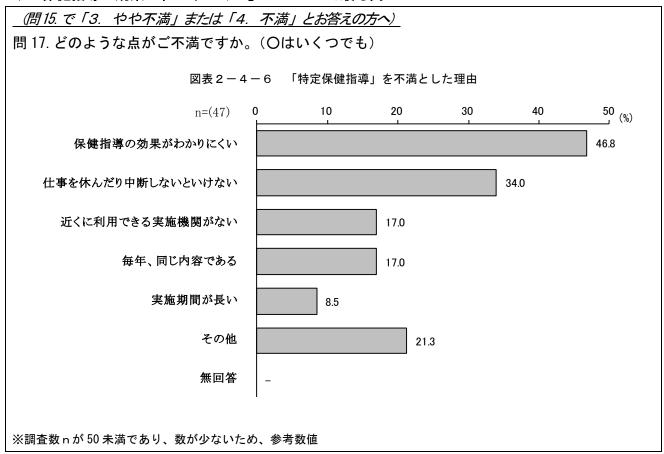
【被保険者数区分別】にみると、

・「実施機関のサービスが良い」は、50人以上区分で11.4%であり、他の区分と比べて高くなっている。

(図表2-4-5)

4. 「特定保健指導」を不満とした理由

◆「保健指導の効果がわかりにくい」が46.8%で最も高い



不満とした理由について、すべて回答してもらった。「保健指導の効果がわかりにくい」が 46.8% で最も高く、以下「仕事を休んだり中断しないといけない」 (34.0%)、「その他」 (21.3%)、「近くに利用できる実施機関がない」 (17.0%)、「毎年、同じ内容である」 (17.0%)、となっている。 (図表 2-4-6)

なお、全体の調査数nが50未満であるため、事業内容別及び被保険者数区分別の結果については 言及しない。

---前回調査 (2016 年) について·······

前回調査は、選択肢の「実施期間が長い」が「実施期間(6か月)が長い」という表記であった。

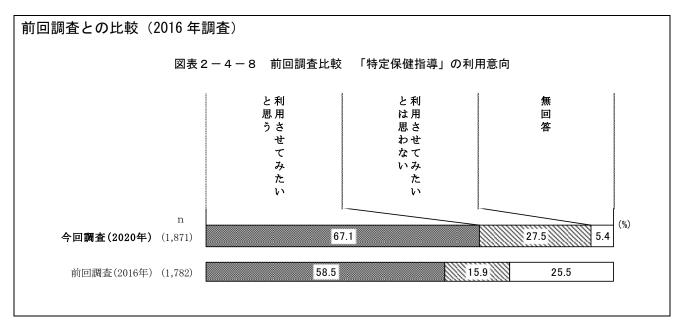
選択肢が異なっており、かつ、前回調査からのサービス内容の変更もあるため比較はできないが、参考として、前回の結果は、「仕事を休んだり中断しないといけない」が59.3%で最も高く、今回調査で第1位となった「保健指導の効果がわかりにくい」は、22.2%であり第4位であった。

5. 「特定保健指導」の利用意向

◆「利用させてみたいと思う」割合は、67.1%

(問 14. で「2. 知っているが、自社(船)の船員は利用したことがない」~「4. 知らない」のいずれかをお答えの方へ) 問 18. あなたの会社(船)において、特定保健指導の対象となる方がいた場合、このサービスを利 用させてみたいと思いますか。(Oは1つだけ) 図表2-4-7 「特定保健指導」の利用意向 と利 と利 は用 思用 うさせ 思さ わせ て みた いみ た n (%) 67.1 5.4 全体(1,871) 27.5 15.6 【事業内容別】/外航船 (32)78.1 内航船(旅客船) 22.5 (182)73.1 内航船(貨物船) (654)64.2 30.7 漁船 (508)68.1 24.8 引き船(タグボート)・作業船 (370)66.5 29.7 69.5 その他 (95)25.3 【被保険者数区分別】/1~4人 (694) 68.7 25.5 5~9人 (486)67.3 27.6 10~19人 (316)70.6 25.3 20~49人 62.2 32.4 (262)63.2 31.6 50人以上 (95)※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

「特定保健指導」について「利用させてみたいと思う」割合は、6割を超えている。【事業内容別】にみると、「利用させてみたいと思う」割合は内航船(貨物船)がやや低くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「利用させてみたいと思う」割合は、 $20\sim49$ 人区分(62.2%)と 50 人以上区分(63.2%)でやや低くなっている。(図表 2-4-7)

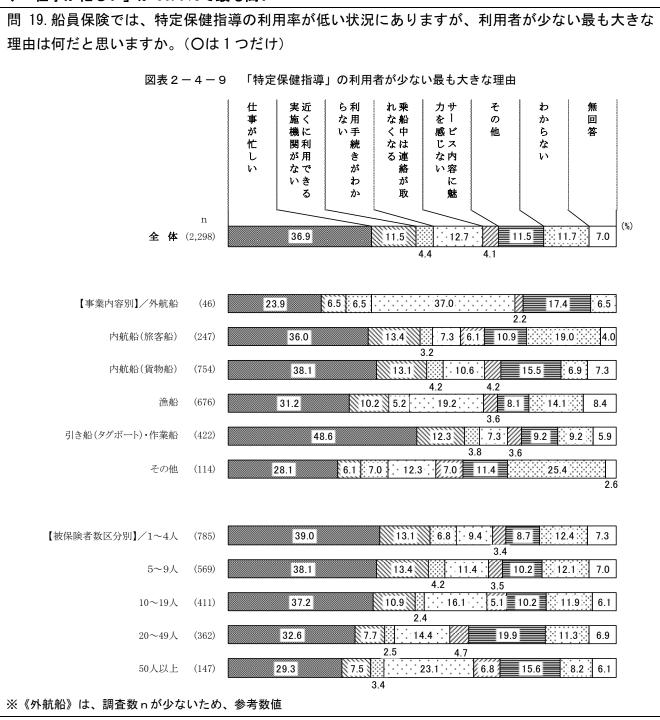


「特定保健指導」について「利用させてみたいと思う」割合は、前回調査の58.5%から今回調査の67.1%へ8.6ポイント増加している。

(図表2-4-8)

6.「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由

◆「仕事が忙しい」が 36.9%で最も高い

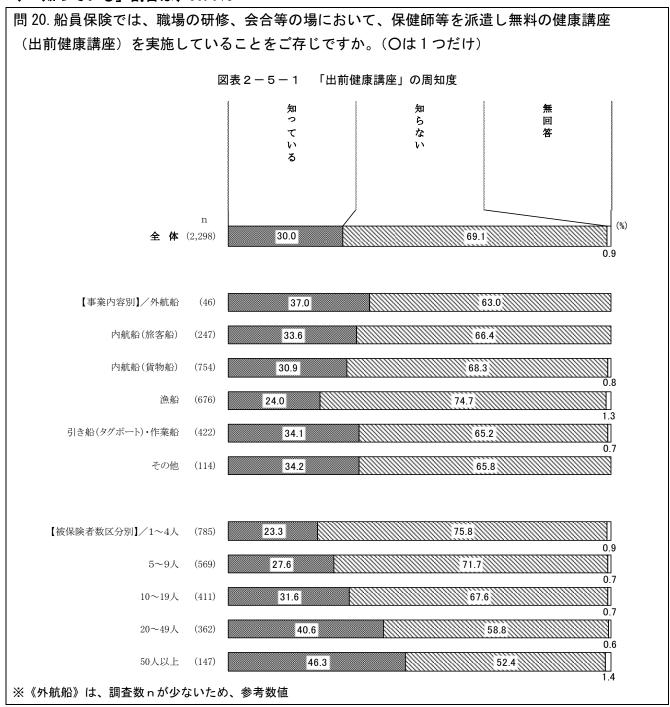


「特定保健指導」の利用者が少ない理由は、「仕事が忙しい」が 36.9%で最も高く、10 ポイント以上の差で「乗船中は連絡が取れなくなる」が 12.7%と次いでいる。また、選択肢「その他」の中には、「船員本人が受けたがらない」という理由がやや多くあげられている。【事業内容別】にみると、引き船(タグボート)・作業船で、「仕事が忙しい」が 48.6%となっており、他の事業内容と比べて高くなっている。【被保険者数区分別】にみると、「乗船中は連絡が取れなくなる」が、50人以上区分で 23.1%となっており、他の区分と比べて高くなっている。(図表 2 - 4 - 9)

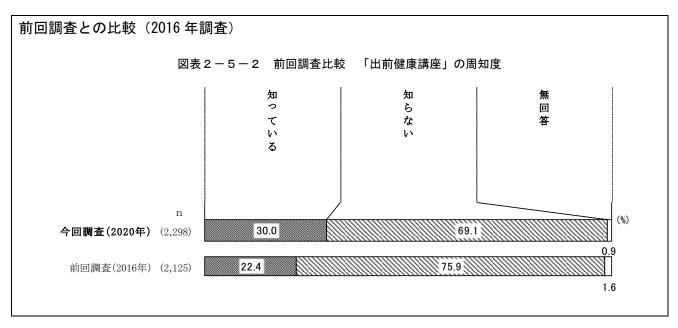
V 「出前健康講座」について(問 20~問 23)

1. 「出前健康講座」の周知度

◆「知っている」割合は、30.0%



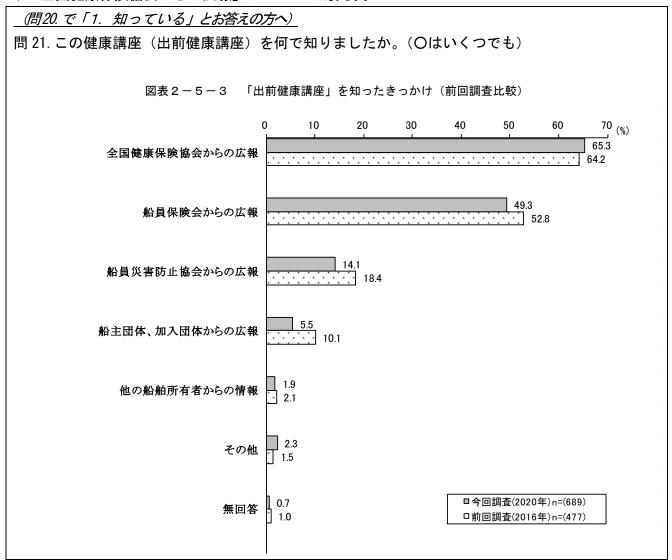
「出前健康講座」を「知っている」割合は、30.0%にとどまり、周知度は低くなっている。【事業内容別】に見ると、漁船は周知度が低く、「知っている」が24.0%となっている。【被保険者数区分別】に見ると、被保険者数が上がるほど周知度は高くなっている。(図表2-5-1)



「出前健康講座」を「知っている」割合は、前回調査の 22.4%から今回調査の 30.0%へ 7.6 ポイント増加している。(図表 2 - 5 - 2)

2. 「出前健康講座」を知ったきっかけ

◆「全国健康保険協会からの広報」が65.3%で最も高い



「出前健康講座」を知ったきっかけは、「全国健康保険協会からの広報」が 65.3%で最も高く、以下「船員保険会からの広報」(49.3%)、「船員災害防止協会からの広報」(14.1%)、「船主団体、加入団体からの広報」(5.5%)、「その他」(2.3%)、となっている。

「全国健康保険協会からの広報」は、前回調査の 64.2%から 1.1 ポイントの増加であるが、大きな差は見られない。

(図表2-5-3)

図表2-5-4 事業内容別・被保険者数区分別 「出前健康講座」を知ったきっかけ

単位:%

									単位:%
		調査数	の広報 全国健康保険協会から	船員保険会からの広報	らの広報・加入団体か	の広報船員災害防止協会から	情報他の船舶所有者からの	その他	無回答
全	体	689	65. 3	49. 3	5. 5	14. 1	1. 9	2. 3	0.7
	外航船	17	64.7	41.2	-	23. 5	-	_	-
事	内航船 (旅客船)	83	67.5	42.2	4.8	19. 3	2.4	3. 6	1.2
業内	内航船 (貨物船)	233	71.2	50. 2	6.9	14. 6	1.7	1. 7	-
容	漁船	162	60.5	45. 1	8.0	9. 3	2.5	3. 7	2.5
別	引き船(タグボート)・作業船	144	63. 9	54. 9	2.8	13. 2	1.4	1.4	-
	その他	39	56. 4	56. 4	2.6	17. 9	-	2. 6	_
被	1~4人	183	68. 9	48. 6	3.8	11.5	2.2	2. 7	0.5
保険	5~9人	157	62.4	49. 0	8.3	14.0	2.5	1. 3	1.3
者 数	10~19人	130	71.5	50. 0	6.9	13.8	1.5	1. 5	0.8
区分	20~49人	147	61. 9	50. 3	3.4	12. 9	1.4	3. 4	0.7
別	50人以上	68	58.8	48.5	5.9	25. 0	1.5	2.9	-

※調査数nが50未満は、数が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

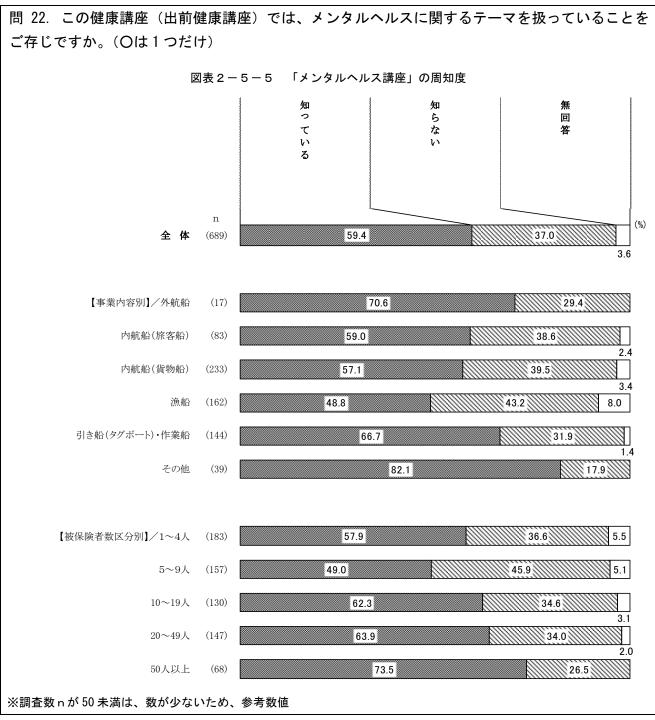
・「船員災害防止協会からの広報」は、外航船と内航船(旅客船)でやや高くなっている。

【被保険者数区分別】にみると、

・「船員災害防止協会からの広報」は、50人以上区分が25.0%であり最も高い。 (図表2-5-4)

3. 「出前健康講座」で取り扱うテーマ(メンタルヘルス講座)の周知度

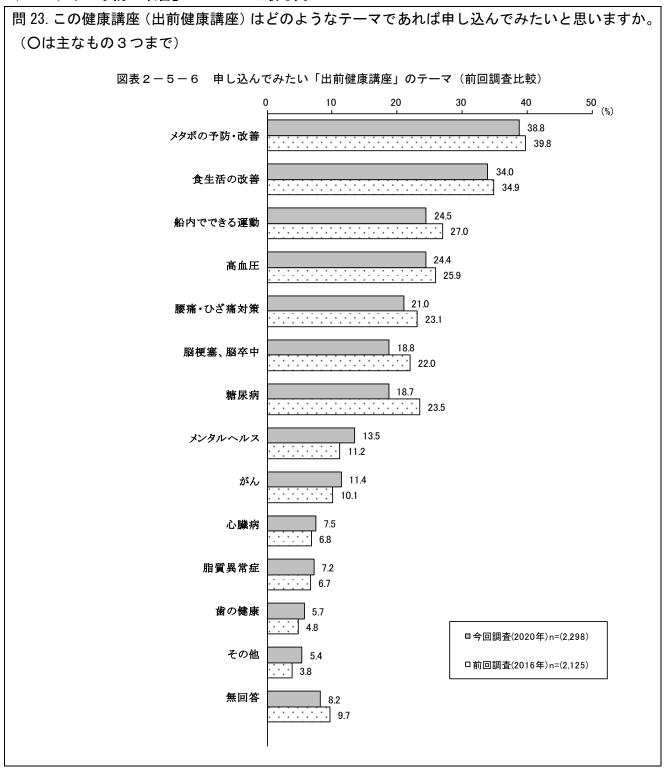
◆周知度は、59.4%



「出前健康講座」を知っている方に、メンタルヘルス講座を扱っていることの周知度を回答してもらった。「知っている」割合は、59.4%となっている。【事業内容別】に見ると、外航船と引き船(タグボート)・作業船での周知度は高く、逆に、漁船は「知らない」が4割を占め、周知度が低くなっている。【被保険者数区分別】に見ると 50 人以上区分での周知度は7割を超えており、他の区分と比べて高くなっている。(図表 2-5-5)

4. 申し込んでみたい「出前健康講座」のテーマ

◆「メタボの予防・改善」が38.8%で最も高い



申し込んでみたい「出前健康講座」を3つまで回答してもらった。「メタボの予防・改善」が38.8%で最も高く、以下「食生活の改善」(34.0%)、「船内でできる運動」(24.5%)、「高血圧」(24.4%)、「腰痛・ひざ痛対策」(21.0%)となっている。前回調査と比べて、最もポイントに差が出ているのは、「糖尿病」であり、前回調査の23.5%から今回調査の18.7%へ4.8ポイント減少している。

図表2-5-7 事業内容別 申し込んでみたい「出前健康講座」のテーマ上位5位

事業内容別	調査数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	2, 298	メタボの予 防・改善		船内でできる 運動	高血圧	腰痛・ひざ痛対策
		38. 8%	34.0%			
外航船	46	メタボの予 防・改善	食生活の改善	船内でできる 運動	メンタルヘルス	高血圧
		52. 2%	, .	,	, ,	
内航船 (旅客船)	247	メタボの予 防・改善	食生活の改善	メンタルヘル ス	高血圧	腰痛・ひざ痛対策
		43. 7%				
内航船 (貨物船)		メタボの予 防・改善	食生活の改善	船内でできる 運動	高血圧	腰痛・ひざ痛対策
		38.6%				
漁船	676		腰痛・ひざ痛 対策	食生活の改善	高血圧	船内でできる 運動
		36. 2%	29.0%			21.6%
引き船(タグボート)・作業船	422	メタボの予 防・改善	食生活の改善		船内でできる 運動	脳梗塞、脳卒 中
		39. 3%	, ,			
その他	114	メタボの予 防・改善	食生活の改善	メンタルヘル ス	高血圧	船内でできる 運動
		43.0%	34. 2%	28.1%	26. 3%	21.1%

※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

「出前健康講座」を知ったきっかけの上位5位を整理した。

「メタボの予防・改善」はすべての事業内容で第1位になっている。「食生活の改善」は、ほとんどの事業内容で第2位となっている。漁船では、「腰痛・ひざ痛対策」が第2位だが、第3位との比率差は僅差であるため、「食生活の改善」についてもニーズがある。

(図表2-5-7)

図表2-5-8 被保険者数区分別 申し込んでみたい「出前健康講座」のテーマ上位5位

被保険者数 区分別	調査数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体	2, 298	メタボの予 防・改善		船内でできる 運動	高血圧	腰痛・ひざ痛 対策
		38.8%	34.0%			
1~4人	785	メタボの予 防・改善	食生活の改善	高血圧	腰痛・ひざ痛 対策	脳梗塞、脳卒 中
		35.4%	31.8%	26.5%	23.4%	22.8%
5~9人	569	メタボの予 防・改善		船内でできる 運動	高血圧	腰痛・ひざ痛対策
		38. 5%	36.0%	27.1%	24.8%	20.7%
10~19人	411	メタボの予 防・改善		船内でできる 運動	高血圧	腰痛・ひざ痛対策
		42.8%	36.5%	24.8%	24.6%	20.9%
20~49人	362	メタボの予 防・改善	食生活の改善	船内でできる 運動	メンタルヘル ス	高血圧
		40.6%	32.9%	32.6%	21.5%	19.9%
50人以上	147	メタボの予 防・改善	食生活の改善	メンタルヘル ス	船内でできる 運動	糖尿病
		44. 2%	34.0%	29.9%	24. 5%	23.1%

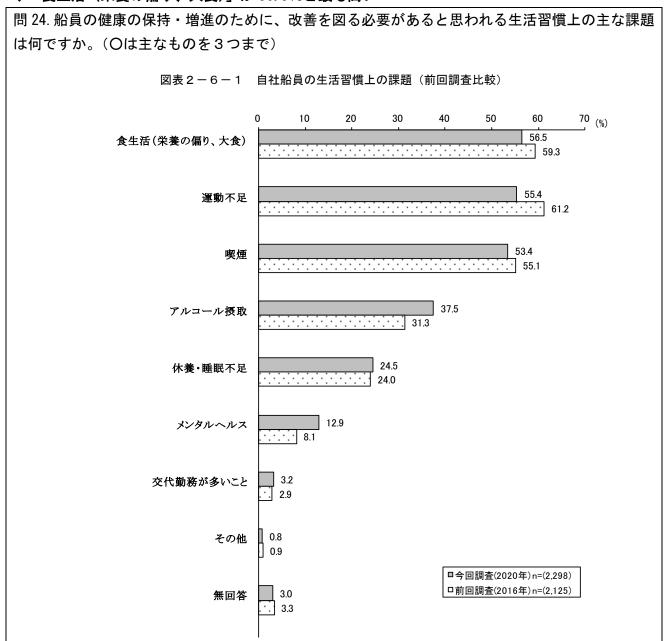
【被保険者数別】についても、上位5位を整理した。

全ての区分で「メタボの予防・改善」が第1位、「食生活の改善」が第2位となっている。 (図表 2-5-8)

VI 「船員の健康づくりの取り組み」について(問 24~問 32)

1. 自社船員の生活習慣上の課題

◆「食生活(栄養の偏り、大食)」が56.5%と最も高い



自社船員の生活習慣上の課題は、「食生活(栄養の偏り、大食)」が 56.5%で最も高く、以下「運動不足」(55.4%)、「喫煙」(53.4%) となっている。

前回調査と比べると、上位3位までの課題は、 $3\sim5$ ポイント程度減少している。一方で、「アルコール摂取」と「メンタルヘルス」は、前回調査と比べて $5\sim6$ ポイント程度増加している。(図表2-6-1)

図表2-6-2 事業内容別・被保険者数区分別 自社船員の生活習慣上の課題

											単位:%
		調 査 数	煙	運動不足	休養・睡眠不足	大食) 食生活(栄養の偏り、	アルコー ル摂取	メンタルヘルス	交代勤務が多いこと	その他	無回答
全	全体		53. 4	55. 4	24. 5	56. 5	37. 5	12. 9	3. 2	0.8	3. 0
	外航船	46	45. 7	41. 3	23. 9	54. 3	50.0	26. 1	8. 7	-	2. 2
事	内航船 (旅客船)	247	51.4	55. 1	23. 5	57. 5	33. 2	19. 4	6. 1	1.2	2. 0
業内	内航船 (貨物船)	754	43.4	62. 3	27. 5	59. 3	36. 6	11.4	4.0	0.7	2.4
容別	漁船	676	64. 3	49. 9	27. 4	56. 7	37.0	5. 6	0.9	0.7	3. 3
万リ	引き船(タグボート)・作業船	422	55. 9	58. 1	17. 1	54.0	42. 2	18. 5	2.8	0.7	2.4
	その他	114	54. 4	48. 2	22.8	49. 1	36.8	26. 3	4. 4	0.9	4. 4
被	1~4人	785	51.5	56. 3	25. 9	54.8	34. 4	10. 1	2.4	1.3	3. 1
保険	5~9人	569	51.8	59.8	24. 3	58. 5	36. 6	11. 1	2. 5	0.7	2. 3
険者数	10~19人	411	56. 2	56. 0	25. 8	59. 6	38. 0	11. 2	4. 6	-	2. 7
区分	20~49人	362	55. 5	48. 6	20. 7	59. 1	43. 6	18.0	3. 6	0.8	2. 5
110	50人以上	147	57.8	51.7	25. 2	45. 6	44. 9	29. 3	5. 4	0. 7	3. 4

※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

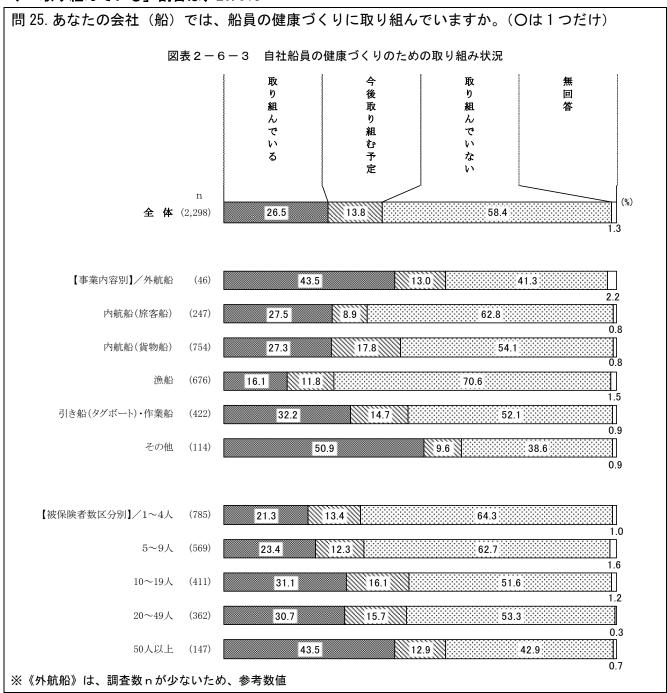
・「メンタルヘルス」の割合が、外航船、内航船(旅客船)、引き船(タグボート)・作業船、その他の事業内容で比較的高く、逆に漁船が 5.6%と低くなっている。

【被保険者数区分別】にみると、

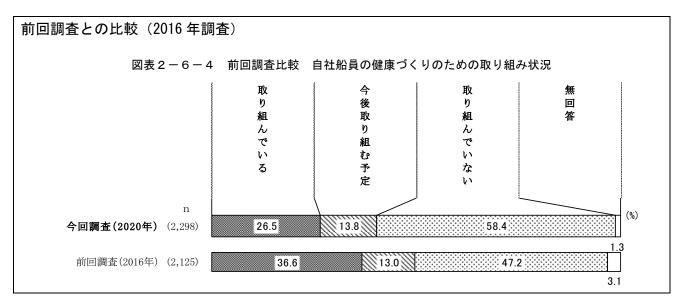
・「メンタルヘルス」の割合が、50人以上区分で29.3%であり、最も高くなっている。 (図表 2 - 6 - 2)

2. 自社船員の健康づくりのための取り組み状況

◆「取り組んでいる」割合は、26.5%



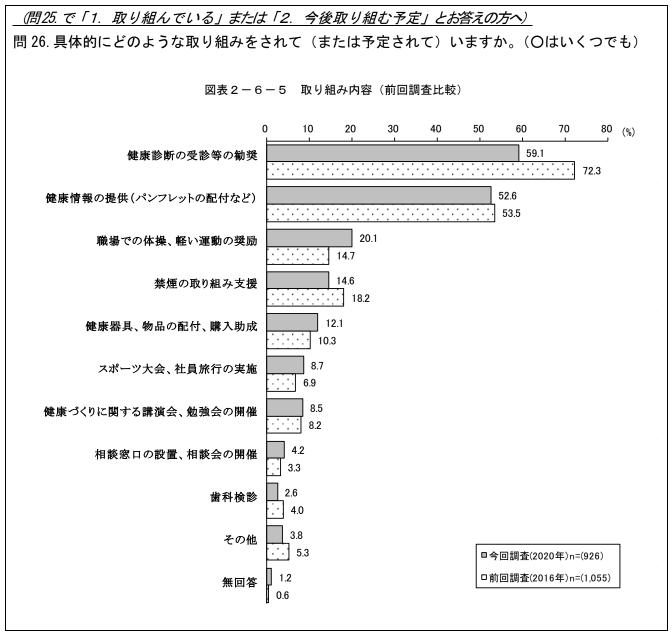
船員の健康づくりに「取り組んでいる」割合は、26.5%となっている。【事業内容別】に見ると、「取り組んでいない」割合が、漁船では7割を占め取り組み実績・意向とも低くなっている。【被保険者数区分別】に見ると、被保険者数が上がるほど「取り組んでいる」実績は高くなっている。(図表2-6-3)



船員の健康づくりに「取り組んでいる」割合は、前回調査の 36.6%から今回調査の 26.5% \sim 10.1 ポイント減少している。(図表 2 - 6 - 4)

3. 自社船員の健康づくりのための取り組み内容

◆「健康診断の受診等の勧奨」が59.1%で最も高い



自社の船員の健康づくりの取り組み内容について、すべて回答してもらった。「健康診断の受診等の勧奨」が59.1%で最も高く、以下「健康情報の提供(パンフレットの配付など)」(52.6%)、「職場での体操、軽い運動の奨励」(20.1%)、「禁煙の取り組み支援」(14.6%)、「健康器具、物品の配付、購入助成」(12.1%)、と続いている。

前回調査と比べると、第1位の「健康診断の受診等の勧奨」は、前回調査が72.3%から今回調査の59.1%へ13.2 ポイント減少している。(図表2-6-5)

図表2-6-6 事業内容別・被保険者数区分別 取り組み内容

単位:%

		調查数	レットの配付など)健康情報の提供(パンフ	会、勉強会の開催健康づくりに関する講演	健康診断の受診等の勧奨	入助成健康器具、物品の配付、購	開催相談窓口の設置、相談会の	奨励 職場での体操、軽い運動の	実施スポーツ大会、社員旅行の	禁煙の取り組み支援	歯科検診	その他	無回答
全	体	926	52. 6	8.5	59. 1	12. 1	4. 2	20. 1	8. 7	14. 6	2. 6	3.8	1.2
	外航船	26	50.0	3.8	69. 2	26. 9	7. 7	15.4	-	15. 4	3.8	-	-
事	内航船 (旅客船)	90	47.8	12. 2	68. 9	3. 3	5. 6	24. 4	8. 9	16. 7	2. 2	4. 4	-
業内	内航船(貨物船)	340	59. 4	6.8	53. 5	17. 6	2. 1	20. 9	4. 1	13. 2	2. 4	4. 4	0.9
容別	漁船	189	41. 3	7. 4	51. 3	8. 5	2. 1	12. 7	10. 6	19. 6	3. 7	5.8	1.6
別	引き船(タグボート)・作業船	198	51. 5	10. 1	68. 2	9. 1	4.0	25. 3	15. 2	11.6	2. 5	1.0	2. 5
	その他	69	60. 9	13.0	66. 7	11.6	18.8	13. 0	10. 1	14. 5	1.4	4. 3	-
被	1~4人	272	43.8	8. 5	63. 2	8.8	5. 1	25. 0	11.0	15. 4	4. 0	4.0	0.4
保険	5~9人	203	53. 7	6.4	52. 7	10.3	2.5	25. 1	9.4	15.8	3. 0	3. 0	3.4
保険者数	10~19人	194	54.6	6. 2	62. 4	12.9	2.6	18.0	9. 3	17. 0	1.5	5. 2	1.0
区分	20~49人	168	63. 1	7. 1	56. 0	16. 7	3. 6	13. 1	6.0	11. 3	1. 2	3. 0	0.6
Hr.I	50人以上	83	56. 6	21.7	60. 2	16.9	10.8	9. 6	3. 6	10.8	2.4	2. 4	-

※《外航船》は、調査数nが少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

- ・「健康づくりに関する講演会、勉強会の開催」は、内航船(旅客船)で12.2%であり、他の事業 内容と比べてやや高くなっている。
- ・「健康器具、物品の配付、購入助成」は、外航船で26.9%であり、他の事業内容と比べて高くなっている。
- ・「スポーツ大会、社員旅行の実施」は、引き船 (タグボート)・作業船で15.2%であり、他の事業内容と比べて高くなっている。

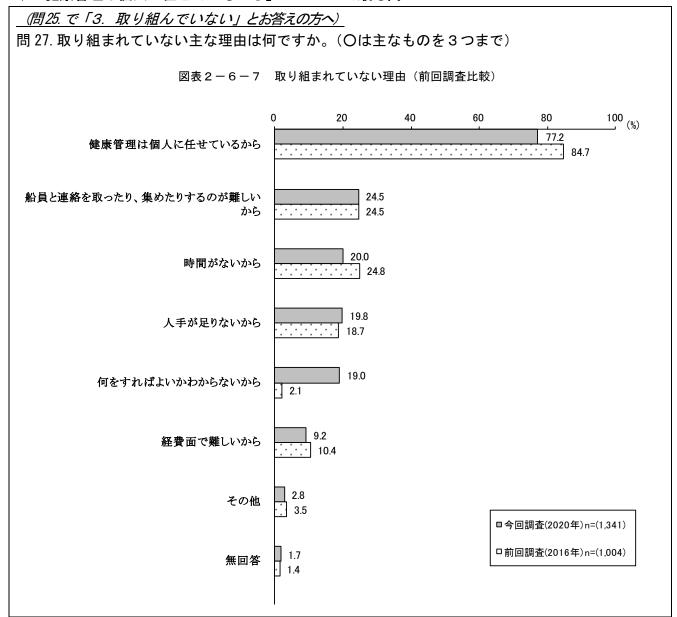
【被保険者数区分別】にみると、

・「健康づくりに関する講演会、勉強会の開催」と「相談窓口の設置、相談会の開催」の割合は、 50人以上区分で最も高くなっている。

(図表2-6-6)

4. 自社船員の健康づくりに取り組まれていない理由

◆「健康管理は個人に任せているから」が 77.2%で最も高い



船員の健康づくりに取り組まれていない理由を3つまで回答してもらった。「健康管理は個人に任せているから」が77.2%で最も高く、以下「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しいから」(24.5%)、「時間がないから」(20.0%)、「人手が足りないから」(19.8%)、「何をすればよいかわからないから」(19.0%)、となっている。

前回調査と比べると、第1位の「健康管理は個人に任せているから」は、前回調査が84.7%から今回調査の77.2%へ7.5 ポイント減少している。逆に、前回調査から増加しているものは「何をすればよいかわからないから」が、前回調査の2.1%から今回調査の19.0%へ16.9 ポイント増加している。(図表2-6-7)

図表2-6-8 事業内容別・被保険者数区分別 取り組まれていない理由

畄位:%

		調査数	いるから健康管理は個人に任せて	時間がないから	人手が足りないから	経費面で難しいから	から 集めたりするのが難しい船員と連絡を取ったり、	その他	ないから何をすればよいかわから	<u>単位: %</u> 無回答
全	体	1, 341	77. 2	20.0	19.8	9. 2	24. 5	2.8	19. 0	1. 7
	外航船	19	63. 2	-	21. 1	15. 8	42. 1	5. 3	5. 3	5. 3
事	内航船 (旅客船)	155	78. 7	16.8	25.8	14. 8	14.2	1. 9	19. 4	-
業内	内航船(貨物船)	408	76. 7	20. 1	27. 9	12. 3	28.9	2.0	16. 7	1.2
容	漁船	477	82. 2	21.6	9. 2	6.9	21.4	1. 9	22. 9	2. 7
別	引き船(タグボート)・作業船	220	72. 7	20. 9	22. 3	5. 5	28.2	5. 5	16.8	1.4
	その他	44	63. 6	9. 1	15. 9	6.8	20.5	11. 4	18. 2	-
被	1~4人	505	79. 2	21.4	18. 4	8. 5	14. 3	3. 4	20.0	2. 0
保険	5~9人	357	79. 6	17. 9	22. 1	9. 5	26. 1	1. 7	17. 1	2. 0
者数	10~19人	212	74. 5	21. 7	20.8	8.0	29.7	2.8	22. 2	0. 5
区分	20~49人	193	74. 1	19. 2	18. 1	9.8	36.8	4. 1	18. 7	2. 1
別	50人以上	63	69.8	14. 3	17. 5	15. 9	41.3	1. 6	15. 9	-

※調査数nが50未満は、数が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、

- ・「人手が足りないから」は、内航船(貨物船)で27.9%であり、他の事業内容と比べて高くなっている。逆に、漁船は9.2%と割合は最も低くなっている。
- ・「経費面で難しいから」は、外航船で15.8%、内航船(旅客船)で14.8%と比較的高くなっている。
- ・「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しいから」は、外航船で 42.1% と最も高くなっている。

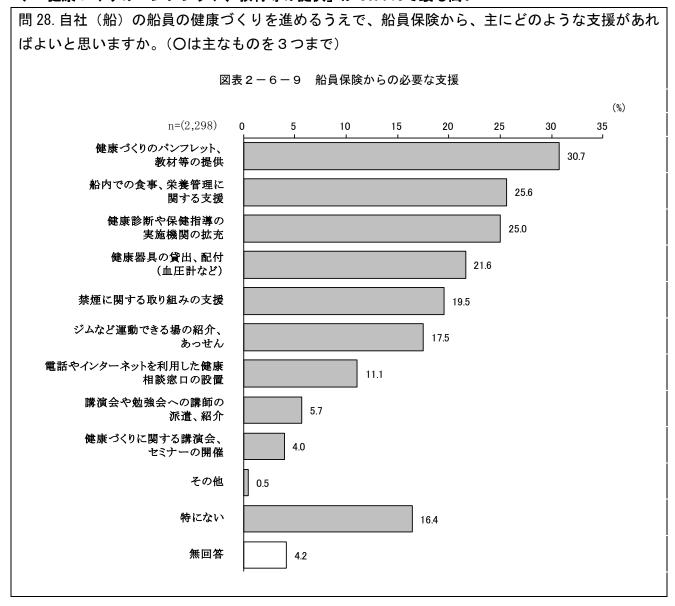
【被保険者数区分別】にみると、

- ・「経費面で難しいから」は、50人以上区分で15.9%と最も高くなっている。
- ・「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しいから」は、20~49 人区分と 50 人以上区分で高くなっている。

(図表2-6-8)

5. 健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

◆「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が30.7%で最も高い



船員保険からの健康づくりに関する必要な支援について、3つまで回答してもらった。

「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が 30.7%で最も高く、以下「船内での食事、栄養管理に関する支援」(25.6%)、「健康診断や保健指導の実施機関の拡充」(25.0%)、「健康器具の貸出、配付(血圧計など)」(21.6%)、「禁煙に関する取り組みの支援」(19.5%)、となっている。(図表 2 - 6 - 9)

図表2-6-10 事業内容別 船員保険からの必要な支援 上位5位

事業内容別	調査数	1 位	2 位	3 位	4位	5 位
全体		健康づくりのパンフレット、教材等の提供	栄養管理に関す る支援	指導の実施機関 の拡充	出、配付(血圧計など)	
		30.7%			21.6%	
外航船		船内での食事、 栄養管理に関す る支援	指導の実施機関		ムなど運動でき	
		32.6%	23.9%		21. 7%	19.6%
内航船 (旅客船)		健康づくりのパ ンフレット、教 材等の提供	指導の実施機関	出、配付(血圧		
		37.2%				
内航船 (貨物船)	754		栄養管理に関す	出、配付(血圧	指導の実施機関	ジムなど運動で きる場の紹介、 あっせん
			32.8%	26.1%		
漁船	676			健康診断や保健 指導の実施機関 の拡充		健康づくりのパ ンフレット、教 材等の提供
		27.1%				
引き船 (タグ ボート) ・作業 船	422		指導の実施機関	栄養管理に関す	出、配付(血圧	ジムなど運動で きる場の紹介、 あっせん
				19.9%		
その他	114	健康づくりのパンフレット、教材等の提供	指導の実施機関	ジムなど運動で きる場の紹介、 あっせん		特にない
		36.8%	23. 7%	19. 3%	18. 4%	17.5%

※《外航船》は、調査数 n が少ないため、参考数値

事業内容別に船員保険からの必要な支援の上位5位を整理した。

「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」は、第1位になっている事業内容が多い中、外航船では「船内での食事、栄養管理に関する支援」が32.6%で第1位となっている。

また、「健康診断や保健指導の実施期間の拡充」が多くの事業内容で第2位になっていることは特徴としてあげられる。

(図表2-6-10)

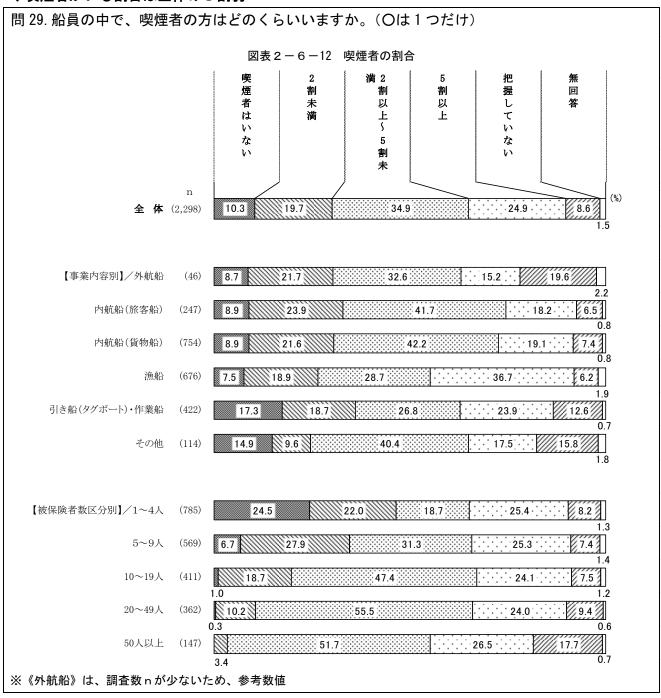
図表2-6-11 被保険者数区分別 船員保険からの必要な支援 上位5位

被保険者数 区分別				3 位		
全体		ンフレット、教 材等の提供	栄養管理に関す る支援	指導の実施機関 の拡充	出、配付(血圧 計など)	
1~4人	785	健康づくりのパンフレット、教材等の提供	健康診断や保健 指導の実施機関 の拡充	特にない	健康器具の貸出、配付(血圧 計など)	栄養管理に関す る支援
5~9人	569	28.8% 健康づくりのパ ンフレット、教 材等の提供	船内での食事、 栄養管理に関す	健康診断や保健 指導の実施機関	禁煙に関する取 り組みの支援	19.0% 健康器具の貸 出、配付(血圧 計など)
						19. 7%
10~19人		健康づくりのパンフレット、教材等の提供				禁煙に関する取り組みの支援
		30.9%		26.3%		
20~49人	362	健康づくりのパンフレット、教材等の提供	栄養管理に関す	指導の実施機関	健康器具の貸出、配付(血圧 計など)	禁煙に関する取り組みの支援
		33.1%	30. 7%	26. 5%	22.4%	20.4%
50人以上	147	ンフレット、教	栄養管理に関す る支援	指導の実施機関 の拡充	出、配付(血圧	禁煙に関する取り組みの支援
		36.1%	31. 3%	28.6%	27. 2%	23.8%

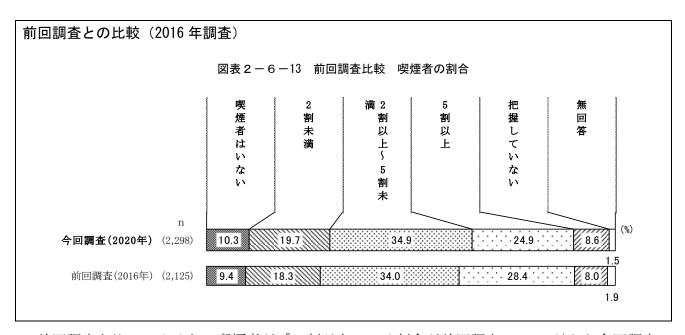
被保険者数別にみる船員保険からの必要な支援の上位5位では、全体の傾向と大きく差はない。 (図表2-6-11)

6 喫煙者の割合

◆喫煙者がいる割合は全体の8割弱



自社船員の中での喫煙者がいる割合は、全体の8割弱を占めている。【事業内容別】にみると、「5割以上」が、漁船で36.7%となっており、他の事業内容と比べて高くなっている。【被保険者数区分別】にみると、「2割以上~5割未満」は、 $20\sim49$ 人区分と50人区分で5割以上であり、他の事業内容と比べて割合が高くなっている。(図表2-6-12)

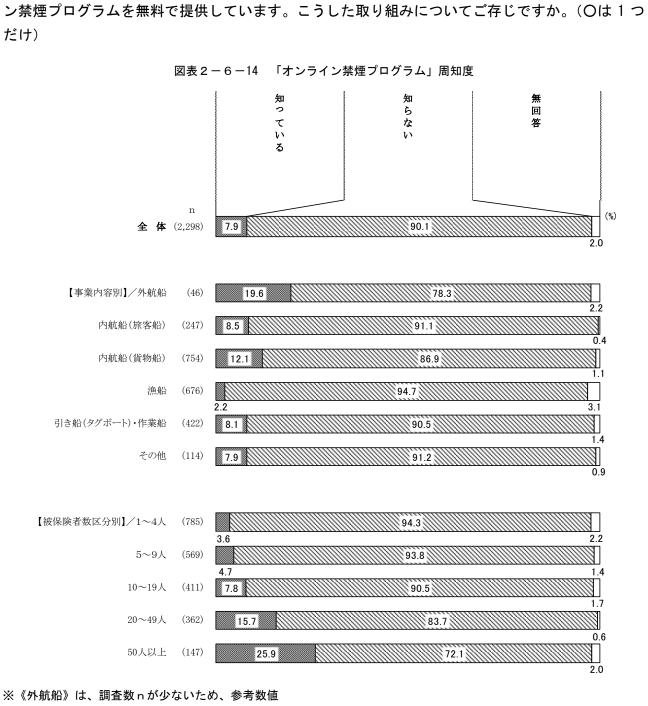


前回調査と比べてみると、喫煙者が「5割以上」いる割合が前回調査の 28.4%から今回調査の 24.9%へ3.5 ポイント減少している。(図表 2 - 6 - 13)

7. 「オンライン禁煙プログラム」の周知度

◆「知らない」が90.1%

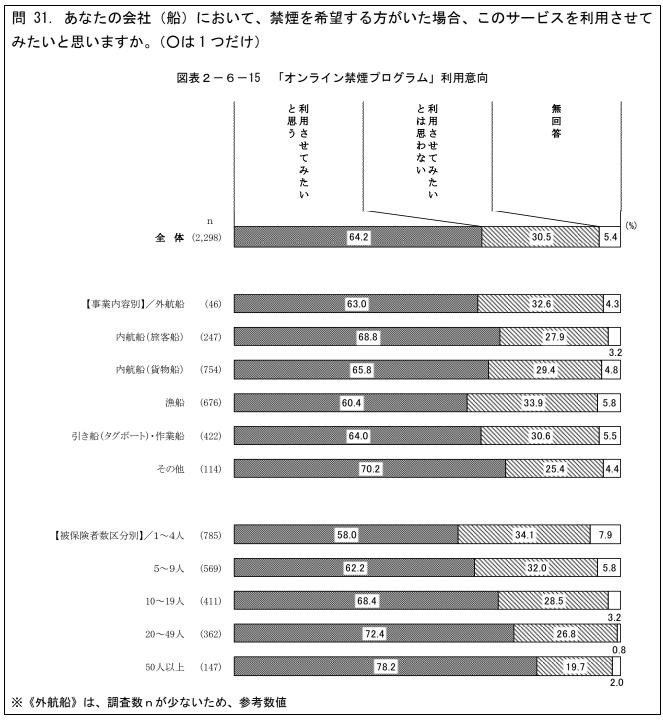
問 30. 船員保険では、スマートフォンアプリと禁煙補助剤を利用して禁煙を支援する、オンライ だけ)



「オンライン禁煙プログラム」を「知っている」割合は7.9%、「知らない」割合が90.1%となっ ており、周知度は極めて低くなっている。【事業内容別】にみると、「知っている」割合が、外航船 で 19.6%であり、他の事業内容と比べて高く、逆に漁船では「知っている」割合が 2.2%と低くな っている。【被保険者数区分別】にみると、被保険者数が上がるほど周知度は高くなっている。(図 表 2 - 6 - 14)

8. 「オンライン禁煙プログラム」の利用意向

◆「利用させてみたいと思う」割合は 64.2%

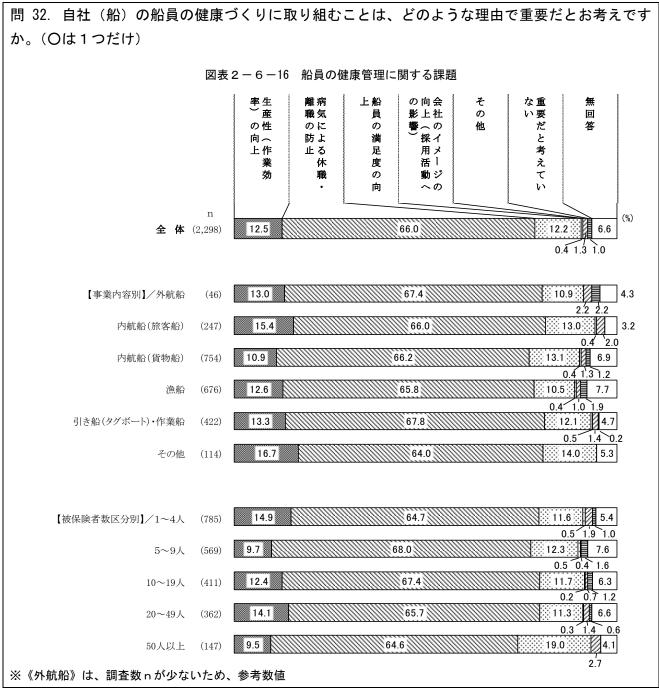


「オンライン禁煙プログラム」を「利用させてみたいと思う」割合は64.2%となっている。

【事業内容別】にみると、「利用させてみたいと思う」割合は、漁船で60.4%となっており利用意向が他の事業内容と比べてやや低くなっている。【被保険者数区分別】でみると、被保険者数が上がるほど利用意向は高くなっている。(図表2-6-15)

9. 自社船員の健康管理に関する課題

◆「病気による休職・離職の防止」が66.0%で最も高い

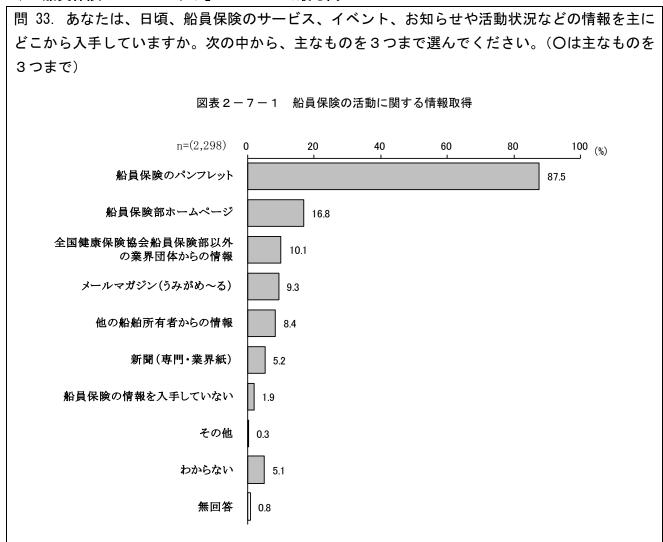


船員の健康づくりに取り組むことが重要と考える理由は、「病気による休職・離職の防止」が 66.0% で最も高く、50 ポイント以上の差で「生産性(作業効率)の向上」(12.5%)、「船員の満足度の向上」(12.2%)と次いでいる。【事業内容別】にみると、「生産性(作業効率)の向上」は、内航船(旅客船)が 15.4%であり、他の事業内容と比べてやや高くなっている。【被保険者数区分別】でみると、「船員の満足度の向上」は、50人以上区分で 19.0%であり、他の区分と比べてやや高くなっている。(図表 2 - 6 - 16)

Ⅲ 「船員保険の広報活動」について(問33)

1. 船員保険の活動に関する情報取得

◆「船員保険のパンフレット」が87.5%で最も高い



船員保険の情報入手元について、「船員保険のパンフレット」が 87.5%で最も高く、70 ポイントの差で「船員保険部ホームページ」(16.8%)、「全国健康保険協会船員保険部以外の業界団体からの情報」(10.1%)、「メールマガジン(うみがめ~る)」(9.3%)、「他の船舶所有者からの情報」(8.4%)と続いている。(図表 2-7-1)

図表2-7-2 事業内容別・被保険者区分数別 船員保険の活動に関する情報取得

単位:% 船 の険全 報他 て船 わ 船 〜メ うし の 査 昌 聞 情部国 い員 か 口 昌 他 な保 数 保 保 報以健 船 Ġ 答 東 険 険 外康 舶 い険 な の めガ 門 部 の保 0) パン ホ 業険 有 情 るン 業 界協 者 報 フ を入手 界 Δ 団会 か レ ~ 紙 体船 6 か員 0 ら保 情 全 体 2,298 87.5 16.8 10.1 0.3 9.3 5. 2 8.4 1.9 5. 1 0.8 外航船 10.9 17.4 80.4 8.7 内航船 (旅客船) 247 88.7 7.7 3. 2 19.8 12.1 6.1 内航船(貨物船) 9.7 754 92.4 11.0 7.3 19.1 10.7 0.5 0.9 2.3 漁船 1.2 676 80.3 6.8 3.8 9.3 10.2 11.4 0.3 3.4 8.6 容 引き船(タグボート)・作業船 422 92.4 12.3 5. 2 21.3 8. 5 5.0 0.2 1.4 3.6 0.2 その他 7.0 114 85.1 6.1 22.8 8.8 3.5 5.3 7.0 1~4人 785 83.8 6.8 4. 1 10.6 8.9 0.1 2.7 7.8 5~9人 569 89.5 9.0 5.4 14. 2 10.7 9.7 0.2 1.8 5.3 0.2 険 10~19人 91.0 19.0 411 10.0 5.4 10.2 10.0 0.2 1.7 1.7 0.5 区 20~49人 362 89.5 12.7 6.6 24. 3 14.4 5. 5 0.3 1.1 1.1 4.4 分 別 50人以上 147 91.8 7.5 8.2 4.8 1.4 1.4 0.7 35, 4

※《外航船》は、調査数 n が少ないため、参考数値

【事業内容別】にみると、全体の傾向と大きく差はない。

【被保険者数区分別】にみると、

- ・「メールマガジン (うみがめ~る)」と「船員保険部ホームページ」は、20~49 人区分と 50 人以 上区分で高くなっている。
- ・「全国健康保険協会船員保険部以外の業界団体からの情報」は、20~49 人区分が 14.4%と最も 高くなっている。

(図表2-7-2)

第3章 意見・要望(自由回答)

I 健康づくりに関する意見·要望(自由回答)

問 34. その他、健康づくりに関して、ご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、下の回答欄に、ご自由にご記入ください。

船員保険事業や今回の調査について、意見・要望を自由に記入していただいたところ、181 件の船舶所有者から回答があった。あげられた意見・要望を分類し、各項目の中から代表的な要望・意見を掲載した。

【一般船舶 分類一覧】

NO	内容	件数
1	実施機関・機会を増やして欲しい	21
2	情報を提供して欲しい	11
3	会社として健康づくりへの取り組みが難しい	10
4	船員本人の健康意識が課題	10
5	健診内容・メニューを増やして欲しい	9
6	健康に関する資料等が欲しい	7
7	健診の「事前予約」による受診が難しい	7
8	船員への連絡等、やりとりが大変	6
9	受診券は4月より前に欲しい	5
10	施設利用の費用を補助して欲しい	4
11	船員の高齢化	4
12	特定保健指導	2
13	その他	36
	総計	132

【漁船 分類一覧】

NO	内容	件数
1	健診のタイミングがあわない	9
2	健診場所の充実	3
3	情報の提供	3
4	健診結果について	2
5	健診内容の充実	2
6	特定保健指導	2
7	その他	28
	総計	49

【一般船舶】

実施機関・機会を増やして欲しい

- ●仕事で休めないので、土.日に受診しているので、回数日を多くしてほしい。
- ●運輸局指定医療機関を増やして欲しいです。
- ●下船日が決まり、生活習慣病検診の予約をしようとすると、病院が少ないのか、よく休暇中にできないことがあるといわれる。(地方の場合、病院の1日に検診できる人数が少ない)地方の病院で健診できる所を増やしてほしいです。
- ●近くでの健診を受けられる病院が少なく、一番近い所では予約がいっぱいで、なかなか船員さん が足を向けてくれないのが現状です。もう少し健診をしてくださる病院が増れば幸いです。
- ●健診機関を増やしてほしい。
- ●受診券が使える病院を増やす方が満足度 u p や受診向上につながると思います。結局使える機関が遠方で健診費用の削減につながらない者も多い。改善してほしいといつも思っています。
- ●受診出来る医療機関が少なすぎる。受診の為に遠方までいく必要があるので、なかなか受診出来ないもっと地方のすみずみまで増して欲しい。
- ●巡回検診を受診する船員が多いので、巡回の日程を増やして欲しい。 (今は各港1日のみなので 勤務の日は受診ができない為)

- ●生活習慣病予防健診は利用しているが、実施機関が少ないのと、曜日指定や総合健診ができなかったり、すぐ予約できなかったりと融通が利かないところが多い。
- ●生活習慣病予防健診を受けられる場所をもっと多くしてほしい。
- ●生活習慣病予防健診が 35 歳以上無料なのはとても助かっています。しかし、受けられる病院(船員手帳検診の証明もしてくれるところ) が少なすぎます…。対象者でも遠方すぎて該当病院に行くことができず活用できない方も多いです。
- ●船員手帳の健診を生活習慣病予防健診のハガキを利用してもらいたいが、半分以上の船員が、利用しないで、健診を受けているので、費用がかかる。理由を聞くと、地元に指定病院がないらしい。もっと指定病院を増して欲しい。
- ●船員手帳健診の病院を地元のかかりつけ医等、増やしてほしい。

情報を提供して欲しい

- ●栄養バランスが良く、幅広い年齢層の口に合う献立の複数提供。
- ●情報提供のためにどのような資料があるのかあらかじめ知っておきたい。
- ●食べることに対して意識の向上になる情報、特に野菜を食べない人が多い。食事を作る側への意識と作業の向上になる情報がほしいです。
- ●船員手帳の健康証明書を提出しているが、実際どのような事に使われているのか具体的な事がわからないので毎回不安ですのでそこらへんの内容を教えてもらえると安心できますし、健康でいてもらえるにはこういう取組をするといいなど考える事ができます。
- ●健康によく簡単な、船ですぐに調理しやすい食事レシピなど、教えて下さい。
- ●肥満が多いのですがどのような食物を食べればやせますか。
- ●弊社では、7~8年前から食事を交代の炊事から各自の自炊になりました。それに伴い、自分の好きな物だけを取る様になり、今は非常に心配しています。バランスの良い食事を取る様に指導はするものの現実はまったく効果がありません。何とかこの様な問題を解決出来る方法はないかといつも思っています。良いアドバイス等ありましたら宜しくお願いします。
- ●閉鎖空間である船内生活において、心身ともに健康でいるために他社がどのような取り組みをしているのか、実例を挙げて紹介して頂けると参考になると考えます。

会社として健康づくりへの取り組みが難しい

- ●業務が不規則でメタボ気味の船員が気になります。また、若い船員でも今後が心配になる者もいます。声かけをするようにしていますが専門家の方の指導や相談があればよいと思いますが、時間を取るのが難しい状況です。
- ●基本、個人に任せているため、会社としてまとめて何かに取り組むというのは、難しいと思う。 海上生活を送る上で、個人の意識向上につながる何かがあればよいと思う。
- ●健康に関しては各自認識を持ち自己防衛のみしか無いのでは。
- ●食生活について指導してほしい 献立や調理法など。
- ●人により気になるところはそれぞれだと思うので、パンフレット等を配布して、気になることは それぞれが気を付けてほしい。担当者が各個人を管理・案内するのはむずかしい。

- ●正直言いまして、現在では船員確保が大変な状況に来ている中で、1人の船員が辞められたら船が停まる状態のとこに来て、健康づくりがどうのこうのって言う以前の問題です。又経費・時間に全く余裕がない。
- ●本人の意識の問題なので、立ち入って会社は踏み込めない。
- ●労務担当者として、船員の健康づくりは安定的な船舶運航にとって、ひいては海運会社としての経営上、重要なテーマだと考えています。しかしながら、当社のような中小規模の事業所では、管理部門の組織風土(意義の理解)・使用可能なリソース(マンパワー、経費等)の不足・現場の実態(成果・モチベーションをあげにくい労働体系)から、取り組みは簡単なものではないと感じています。 これらの課題に焦点を当てた支援があれば、効果的なのではないでしょうか。

船員本人の健康意識が課題

- ●めんどくさがりな人でも取り組める健康管理方法などあればいいなと思います。
- ●安全と同様に健康も「第一」であることを教育し、具体的に何かを実践させたいのですが、健康 体の人を対象にこれをやるのは難しいことですね。
- ●各個人が健康に対して気軽に向き合えるようなプログラム(生活指導)があればいいなと思います。 本人の気持ちが一番なのですが。
- ●各人の健康に対する意識が各々違うので同様にして下さいと言われても、なかなかその事に動いてくれない人も多くいます。
- ●巡回車で一括健診を行っていますが、保健指導となると耳が痛いこともあり、拒否します。健診 後、医師からのお手紙という形をとれば少しは気にするかもしれません。尚、個々数値等は理解 しています。
- ●成人男性は健康への気遣いに積極性がない。家族などがいない船内では、良くない生活習慣をとがめる者がいない。手軽で安価で継続性のある習慣が見つかると良い。
- ●船員に生活習慣の改善や、健康づくりに関して提案や意見を言っても、全く興味を持たない。喫煙、飲酒、偏った食事をしているのに、不健康だと思っていない。陸上で働いている感覚でものを言っても、船員には伝わらない。なので時間を割いてまで特定保健指導を受けるとは考えにくい。実際に書類を渡しても無視される。以上の事から、今後も指導を受ける事はないと思います。
- ●船員各自は健康面には結構気を使っているようですが、反面いざ病院或いは指導となれば二の足を踏むような様子が見受けられます。今後もっと注意深く指導していきたいと思います。
- ●特定保健指導の案内に対して対象の船員から、「自覚はあるので何度も言わないでほしい」や「強制ではないのなら行かない(面倒)」というような声を聞きます。船員保険を担当する側としても、対象者に案内を出しても門前払いのような扱いで、参加希望者が集まることはほとんどありません。最近は案内を出すだけ無駄だと感じているところです。 健康面に気をつける人は既に自主的に対策を行っており(今さらやり方を変えたくない)、そうでない人は徹底的にするつもりが無いのかなと思います。現状では、いずれにしても指導希望者が増えることはないのではないかと思います。
- ●本人の自覚を向上させる。健康意識を高める。

健診内容・メニューを増やして欲しい

- ●ガンなどの検診の充実を図ってほしい。
- ●近い将来は高年齢者が多く在籍するようになるので脳ドックなどに関する健診の強化を無料にしてほしい。
- ●三大疾病等のオプションを総合健診に盛り込んでほしい。(現在はオプション別)
- ●歯科健診が健康診断項目にあると良い。
- ●生活習慣病予防健診に腹部エコー検査を追加していただければと思います。
- ●生活習慣病予防健診の無料健診の内容は会社が受けさせる検診内容と比べるとかなり簡素なものであり、魅力がない。また、対象病院があまりにも少なく気軽に行ける距離にない。 特定保健指導については 35 歳未満の若年層であっても肥満が顕著な者も対象にしてはどうか※当社の 22 歳船員が肥満等により糖尿病と診断された。

健康に関する資料等が欲しい

- ●ごはん(食事)のカロリーのおさえかたや、船内での運動のしかたなどマンガ風にイラストが多ければあれば、船員さんは、良くよんでくれると思います。ありがとうございます。
- ●以前配布されましたヘルスコンパスのDVDの軽体操は男性でも、快く身体をストレッチする事ができました。ありがとうございました。
- ●隔月発行の船員保険の健康広場をコピーして、各自に渡しています。見易く役に立っていますのでこれからも船員に起こり易い病気や怪我に関する情報を載せて頂けるとありがたいです。
- ●月刊「船員ほけん」は事業者向けの刊行物ではあるが、内容が充実しているので船員にも読ませたい。 弊社には船舶が 6 隻あるので、船に配るために 7 冊提供して欲しい。
- ●健康作りに関してのサロン(食堂)に貼れるポスターなどがあれば良いかと思っております。
- ●生活習慣病は、どうして、どんな病気にかかるのか、そして、その防止策は、ひと目で分る様な ものがあると、指導しやすい。
- ●船員さんが、船内でみられる健康づくりのDVDを製作して提供してほしい

健診の「事前予約」による受診が難しい

- ●健康診断が事前予約の為受診できない事を電話しましたが改善されないです。小さな会社ほどコストを下げたいです。
- ●自身の健康のために、会社のためにも健康であることが大事だと思う。検査にも行って欲しい(人間ドックくらいの)現在、仕事で長期の予約をするのが難しい。予約してその日に行って検診を受ける状態。短時間でも検査結果が正確に出ればいいのにと思います。
- ●船員の予防健診は病院との日程がむずかしく、予約をしていてもその日にバージ出航が入ります。 病院側が前日までの申込み、又は空いた日に利用したいと思ってもなかなか思うような受診がで きません。
- ●健康診断では船員さんは最優先で受診出来ますように お願いいたします。
- ●健診を受けることの出来る機関が少なく、予約を取るのも一ヶ月先となることがある。もっと予約しやすくして欲しい。

船員への連絡等、やりとりが大変

- ●事務所所在地と船舶作業場所が遠く離れているため、健康管理や連絡が円滑にできていない。 毎回、船員宛の書類を転送する手間が繁雑で郵送費用もかかる。
- ●生活習慣病予防健診書類は本人分も自宅へ郵送してほしい。
- ●船員の検診の案内や、受診表などは、会社を通さずに直接自宅に送ってほしい。それを利用するかしないかは、船員本人しだい。なぜ結果を送ってこないのか、などの電話も迷惑、船員に聞け、毎度毎度同じことを言われて、会社のせいにされるのなら、会社を通さずに本人に言ってほしい。
- ●船員個人の「保健指導」を会社でまとめる事は、現実的でない。船員さん個々へのアプローチをお願いしたい。(直送)・厳しい財政事情だと思うが、医療費の本人一部負担もやむえないと思う。
- ●当社の船員は全国各地にいる為、生活習慣病予防健診の案内等を直接各船員の自宅に送ってもらいたいです。
- ●パンフ 資料等の配布は自宅に送付してほしい。

受診券は4月より前に欲しい

- ●3月だと受診券が届いていない為、生活習慣病健診を受診できない。4月に受診券が届いたら、 事後提出する形で、受診できるようにしてもらいたい。
- ●3月に生活習慣病健診を受診したくとも、受診券は4月にしか届かない為、受診できない。受診 券は4月に事後提出するようにして、受診できるようにしてもらいたい。
- ●4月初旬に健康診断を受診するので 受診券の郵送を受診日に間に合うように発行してほしい。
- ●生活習慣病予防健診の受診券を早めに送付して頂きたい。休みの関係上、受診券が手元になく受けたくても受診できない者がいる、2月頃に送付して頂けると大変助かる。
- ●生活習慣病予防健診を4月に受けた場合で船員手帳の健康証明としても利用する場合、有効期限が1年であるため、次回は3月中に受診する必要がでてくるが、3月だと受診券が届いていないため、生活習慣病予防健診を受診できずに、通常の健診を受けざるをえない。3月でも、受診券なし(事後提出)で受診できるようにしてもらいたい。

施設利用の費用を補助して欲しい

- ●福利的施設があるのであれば利用を考え船員にうながしていこうと思います。
- ●最近は筋肉を付ける事が健康作りにとって良いとされているので、ジムに通う為の費用を負担頂けたらうれしいです。船員保険でジムと提携して欲しい。特定保健指導者の派遣よりも、利用率が上がるし、健康維持につながると思う。
- ●全国のスポーツクラブ等格安で利用できる様に出来ると良いと思います。(短期で使用)

船員の高齢化

- ●高齢化が進んでいく事で体力的な低下は今後問題になると思います。体力の増強や維持について とり上げてみてはどうでしようか。
- ●弊社の船員は60歳を過ぎており、今後高齢者を意識した健康維持についても指導をお願いしたい。
- ●健診時の担当医からより多くのアドバイスをしてほしいです。船員の年齢層が高い為です。

特定保健指導

- ●特定保健の受診率が低いので、来て得したと思えるような物が有ればいいなと思います。
- ●昨年、特定保健指導を利用する為に、希望の日時を記入して、一度は日程が決まりましたが、こちらの配乗表の変更に伴い、結局、キャンセルさせて頂きました。本人も指導して頂く事に前向きであった為、とても残念でしたが、急なスケジュールの変更がさけられないので、1ヶ月以上も前に希望日時を決めて、日程を決定するのは難しいとの配乗担当からの意見でした。直接、会って指導できない場合の対応策があれば是非利用させて頂きたいです。

その他

- ●総合評価としての、健診結果の指導が行いやすい明示があると良いと思います。
- ●35歳以上とかではなく全年齢、無料健診が出来ると良いと思う。
- ●ドリンクとかサプリとか格安で購入できるようなのがあれば会社で買って船に持っていきたいで す。予防接種代が安くなるとうれしいです。
- ●マーカー・PSA検査の船員保険割引を関係健診機関に浸透させてほしい。船員法第89条2項の解釈で「雇入契約存続中」と「乗船中」の関連をわかりやすく説明してほしい。
- ●勤務形態が不規則で本人任せではありますが、今後改善を図っていきたい。
- ●禁煙・偏食・飲酒を改善するよう会社として取り組みたいです。
- ●健康づくりの支援に関するアンケートのコピーを全船員に見させ「生活習慣病予防健診及び船員 健康証明書の受診をすすめております。
- ●船員の生活リズムは不規則になりがちです。そして乗船すると2~3ヶ月乗船となるので中々健 診にも行きにくいのが現状。定期的に乗船中に尿検査をするなど、乗船中でも早期に病気に気付 ける環境作りが必要ではないでしょうか?そのようなキットなどがあれば良いと思います。
- ●船員保険が実施している健診を受けた場合、船員手帳の記入も無料にしてほしい。
- ●船員保険で受診した成人病検査結果のデータを、第一回めに受診した時から現在まで欲しい。
- ●船員保険について、陸上勤務者に比べて、勉強の機会が少ないように思う。
- ●船主の会議などがあるその時に船主に説明して載くのはどうか。(内航タンカーor・オレペーター支部等)
- ●地区の医療機関で無料の健診を受けるようにしてほしいです。
- ●予防接種(インフル)等費用安くしてほしいです。

【漁船】

健診のタイミングがあわない

- ●巡回健診の時期が合わずなかなか利用できない。(船員)
- ●色々な活動をしてくださっているのは嬉しいのですが本船の場合乗組員の居住地がバラバラでタ イミングが合わないのが残念。
- ●生船の為、入る港が毎回ちがう事が多いので、港によって、入港・出港が、バラバラで、時間がなく、ねる時間も少なくない事があるので…
- ●長期航海となる漁船の場合、巡廻健診のタイミングが合わない事が多い。毎年同じ時期のスケジュールになるため受ける事が不可能な船員が多い。毎年時期をズラして欲しい。
- ●当社、遠洋かつお一本釣、年間6~7回の航海です。入港から出港の間は4~5日で水揚作業、 食料の積込とかあり、本人達の休みが1日位しかありません。その中で保健指導を実施するのは なかなかむずかしいです。会社としては受けさせたいと思いますが。
- ●私共は鮪延縄船で、陸にいる時間が少ない為、船員保険で色々なサービスがあっても、受けるのが、むずかしい状況です。年に一度は市内の病院で検診を受けて船員手帳に記入していただいております。
- ●船員は、陸上にいる時間が少なく、気にはなっていてもなかなか健康づくりにとり組めない現状です。が、高齢者もふえてきて、すごく重要であると、認識しています。
- ●仕事の月、日、時間が、不定期、天候に左右されるので予定日は取れない。

健診場所の充実

- ●健診のバスの周る場所をふやしてほしい。
- ●船員保健指定の医療機関(病院)等を増やしてほしい。

情報の提供

●他社の方々の取り組みもお聞きしてみたいものです。船員さんの為になる事は取り入れて行きたいと思っております。

健診結果について

- ●健診の結果をもう少し早くしてほしい。今は1ヶ月後だが最低でも二週間ぐらいで結果が知りたい。
- ●健康診断の受診結果だけを見るので、各人ごとに注意項目を指摘する項目があれば良い。

その他

- ●出発時に講師の方に会社・出港場所に来て頂き、健康講座を実施して頂きたいと考えていますが、 人数が少なく開催できない事が多いので残念です。
- ●健康情報やチラシは船員の住所に直接送ってほしい。その方が、確実に情報が本人に届きます。
- ●うちの様な少規模なところは、あまり該当しないことが多い。色んなパンフ等が送られてくるが、 もったいないので要りません。こういう仕事をしている人が沢山いて、保険料で運営されている という事に驚いている。
- ●基本漁師は不規則な生活があたり前なのでなかなかこうしましょう!というのは難しいと思われ、 とにかく、健診があるだけでも有難いと思います。
- ●乗組員一人一人が、行動に移さなければ私達がいくら治しても、なかなか動かないのはどこもいっしょです。船員手帳に健康診断ある事がまず安心ですがそれに満足しているのも本当なんでしょうね。
- ●生活習慣病予防検診無料の対象者を35歳以上から全乗組員人拡げてほしい。

第4章 調査票

全国健康保険協会 船員保険部

「船員保険事業(健康づくりの支援)に関するアンケート」

令和2年1月

ご記入にあたってのお願い*インターネットで回答される方は、この調査票の提出は不要です

- ◇記入日時点の状況について、船舶所有者もしくは代理の方がご回答ください。
- ◇質問へのご回答は、あてはまる番号に○をつけていただくか、回答欄にご記入いただく形式になります。回答が「その他」の場合は()内にその内容をご記入ください。
- ◇選択された回答によっては、次に回答する設問が異なる場合があります。質問文をよくお読みください。

<お問い合わせ先>

株式会社サーベイリサーチセンター「船員保険事業(健康づくりの支援)に関するアンケート」調査事務局 20120-332-214 (フリーダイヤル 月~金 9~18時)

(問1. ~問2.は、全員がお答えください)

問 1. あなたは、船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」は、無料で受けられることをご存じですか。(〇は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

問 2. これまでに、自社(船)の船員が生活習慣病予防健診を受診したことがありますか。 (〇は1つだけ)

-1. 受診したことがある

2. 受診したことはない -

── 問6.へお進みください

(問2.で「1.」とお答えの方へ)

問3.この健診に満足されていますか。(〇は1つだけ)

- 1. とても満足

3. やや不満 -

→ 問5. へお進みください

)

- 2. おおむね満足

4. 不満

(問3.で「1.」または「2.」とお答えの方へ)

問 4. 主に、どのような点に満足されていますか。(Oは主なものを3つまで)

- 1. 健診内容が充実している
- 2. 健診機関が多い
- 3. 船員手帳の「健康証明書」欄に 証明を受けることができる
- 4. 健診車が来てくれる
- **5.** 無料で受けることができる
- **6.** その他 (具体的に:

──→ 問6.へお進みください

(問3.で「3.」または「4.」とお答えの方へ)

問 5. 主に、どのような点がご不満ですか。(Oは主なものを3つまで)

- 1. 健診内容が不十分である
- 2. 健診機関が少ない
- 3. 健診に時間がかかる
- 4. 予約が面倒である

- 5. 申込み手続きがわかりにくい
- 6. その他

(具体的に:)

(問 6. は、全員がお答えください)

問 6. 船員保険では、毎年 4 月、船舶所有者の皆さまに、貴社(船)の 35 歳以上の船員の方に渡していただくため、生活習慣病予防健診のご案内パンフレットと健診の受診券をお送りしていますが、お手元に届いていますか。(〇は 1 つだけ)

- **一 1**. 届いている
 - **2.** 35 歳以上の船員はいるが、届いていない

→ 問9. へお進みください

- 3. 35 歳以上の船員はいるが、届いているかよくわからない -
- **4.** 35 歳以上の船員はいないので、届いていない -

(問6.で「1.」とお答えの方へ)

問7.ご案内パンフレットと受診券は船員の方にお渡しいただけましたか。

(Oは1つだけ)

- **2**. 一部の方に渡していない
- 3. 渡していない

(問7.で「2.」または「3.」とお答えの方へ)

問8.お渡しいただけなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 決まった機関で船員手帳健診を受け させているから
- 2. 健診の受診は個人に任せているから
- 3. 自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから
- 4. 本人に渡す機会がなかったから
- 5. その他

(具体的に:)

(問9.~問10.は、全員がお答えください)

問 9. 生活習慣病予防健診の実施機関の多くは、船員手帳健診も取り扱っており、受診の際に船員手帳をお持ちいただければ、健康証明も併せて受けられることをご存じですか。 (〇は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

問 10. 船員保険では、生活習慣病予防健診を受けていない方について、船員手帳の「健康証明書」欄の写しのご提供をお願いしていることをご存じですか。(〇は1つだけ)

- 2. 知っているが、提供したことがない

(問10.で「2.」とお答えの方へ)

問 11. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただけなかった最も大きな理由は何ですか。(Oは 1 つだけ)

- 1. 提供方法がわからないから
- 面倒だから
- 3. 提供することにメリットを 感じないから
- 4. 個人情報を提供することに不安があるから
- 5. 船員の同意を得られないから
- 6. その他(具体的に:

(問12.は、全員がお答えください)

問 12. 船員保険では、全国各地の港や漁業協同組合等を健診車で訪問し、加入者の皆さまに 受診いただく「巡回健診」を実施していますが、こうした取り組みについてご存じですか。 (〇は1つだけ)

- 1. 知っており、利用したことがある ————— 問14. へお進みください
- 2. 知っているが、利用したことがない

(問12.で「2.」とお答えの方へ)

問 13. 「巡回健診」を利用いただけなかった理由は何ですか。(Oはいくつでも)

- 1. 決まった機関で船員手帳健診を受け させているから
- 2. 健診の受診は個人に任せているから
- 3. 実施時期と船員の乗船スケジュール が合わないから
- 4. 申し込み方法がわからないから
- 5. その他

(具体的に:)

)

(問14.は、全員がお答えください)

問 14. 船員保険では、健診結果から、生活習慣の見直しが必要な方に対し、保健師等の専門 家が生活習慣の改善方法等の相談にのり、助言等を行う「特定保健指導」というサービスを 無料で提供していることをご存じですか。(Oは1つだけ)

- -1. 知っており、自社(船)の船員が利用している、または利用したことがある
- 2. 知っているが、自社(船)の船員は利用したことがない
- 3. 知っているが、自社(船)の船員の利用状況を把握していない -
- 4. 知らない → 問18.へお進みください

(問14.で「1.」とお答えの方へ)

問 15. 特定保健指導を利用されて、満足していますか。(〇は1つだけ)

-1. とても満足

3. やや不満 -

→ 問17. へお進みください。

)

)

- 2. おおむね満足
- 4. 不満

(問15.で「1.」または「2.」とお答えの方へ)

問 16. どのような点に満足していますか。(○はいくつでも)

- 1. 近くに利用できる実施機関がある
- 2. サービス内容が充実している
- 3. 実施機関のサービスが良い
- 4. 無料で受けることができる
- 5. 船員の健康管理に役立っている
- 6. その他

(具体的に:

── 問19. へお進みください

(問15.で「3.」または「4.」とお答えの方へ)

問 17. どのような点がご不満ですか。(Oはいくつでも)

- 1. 近くに利用できる実施機関がない
- 4. 毎年、同じ内容である

2. 実施期間が長い

- 5. 保健指導の効果がわかりにくい
- **3.** 仕事を休んだり中断しないといけない **6.** その他

(具体的に:

──→ 問19.へお進みください

(問14.で「2.」~「4.」のいずれかをお答えの方へ)

問 18. あなたの会社(船)において、特定保健指導の対象となる方がいた場合、このサー ビスを利用させてみたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- **1.** 利用させてみたいと思う **2.** 利用させてみたいとは思わない

(問19.~問20.は、全員がお答えください)

問 19. 船員保険では、特定保健指導の利用率が低い状況にありますが、利用者が少ない最も 大きな理由は何だと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1. 仕事が忙しい
- 2. 近くに利用できる実施機関がない
- 3. 利用手続きがわからない
- **4.** 乗船中は連絡が取れなくなる **7.** わからない
- 5. サービス内容に魅力を感じない
- 6. その他

(具体的に:

問20. 船員保険では、職場の研修、会合等の場において、保健師等を派遣し無料の健康講座 (出前健康講座)を実施していることをご存じですか。(Oは1つだけ)

- 1. 知っている

2. 知らない --> 問23. へお進みください

)

)

(問20.で「1.」とお答えの方へ)

問 21. この健康講座(出前健康講座)を何で知りましたか。(〇はいくつでも)

- 1. 全国健康保険協会からの広報
- 2. 船員保険会からの広報
- 3. 船主団体、加入団体からの広報 6. その他(具体的に:
- 4. 船員災害防止協会からの広報
 - 5. 他の船舶所有者からの情報

(問21.をお答えの方へ)

問 22. この健康講座 (出前健康講座) では、メンタルヘルスに関するテーマを扱っている ことをご存じですか。(Oは1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

(問23.は全員がお答えください)

問23.この健康講座(出前健康講座)はどのようなテーマであれば申し込んでみたいと思 いますか。(Oは主なもの3つまで)

- **1**. メタボの予防・改善
- 2. 糖尿病
- 3. 脂質異常症
- 4. 高血圧
- 5. 心臟病
- 6. 脳梗塞、脳卒中
- **7**. がん

- 8. 食生活の改善
- 9. 腰痛・ひざ痛対策
- 10. 船内でできる運動
- 11. 歯の健康
- 12. メンタルヘルス
- 13. その他

(具体的に:

(問24.~問25.は、全員がお答えください)

問24. 船員の健康の保持・増進のために、改善を図る必要があると思われる生活習慣上の主 な課題は何ですか。(〇は主なものを3つまで)

- 1 喫煙
- 2. 運動不足
- 3. 休養·睡眠不足
- 4. 食生活(栄養の偏り、大食)

- **5**. アルコール摂取
- 6. メンタルヘルス
- 7. 交代勤務が多いこと
- 8. その他

(具体的に:

(Oは1つだけ)

- 取り組んでいる
- 今後取り組む予定 —
- **3.** 取り組んでいない —

→ 問26. へお進みください

→> 問27.へお進みください

(問25.で「1.」または「2.」とお答えの方へ)

問26.具体的にどのような取り組みをされて(または予定されて)いますか。

問25.あなたの会社(船)では、船員の健康づくりに取り組んでいますか。

(Oはいくつでも)

- 1. 健康情報の提供(パンフレットの配付など)
- 2. 健康づくりに関する講演会、勉強会の開催
- 3. 健康診断の受診等の勧奨
- 4. 健康器具、物品の配付、購入助成
- 5. 相談窓口の設置、相談会の開催

6. 職場での体操、軽い運動の奨励

)

- **7.** スポーツ大会、社員旅行の実施
- 8. 禁煙の取り組み支援
- 9. 歯科検診
- 10. その他

(具体的に:

── 問28.へお進みください

(問25.で「3.」とお答えの方へ)

問 27. 取り組まれていない主な理由は何ですか。(Oは主なものを3つまで)

- 2. 時間がないから
- 3. 人手が足りないから
- 4. 経費面で難しいから
- 1. 健康管理は個人に任せているから 5. 船員と連絡を取ったり、集めたりす るのが難しいから
 - 6. その他(具体的に:
 - 7. 何をすればよいかわからないから

(問28.~問32.は、全員がお答えください)

問 28. 自社(船)の船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険から、主にどのような支援があればよいと思いますか。(〇は主なものを3つまで)

- 1. 講演会や勉強会への講師の派遣、紹介
- 2. 健康づくりのパンフレット、教材等の提供
- 3. 健康診断や保健指導の実施機関の拡充
- 4. 健康器具の貸出、配付(血圧計など)
- 5. 禁煙に関する取り組みの支援
- 6. 健康づくりに関する講演会、セミナーの開催
- 7. 電話やインターネットを利用した健康相談窓口の設置
- 8. 船内での食事、栄養管理に関する支援
- 9. ジムなど運動できる場の紹介、あっせん
- 10. その他(具体的に:
- 11. 特にない

問 29. 船員の中で、喫煙者の方はどのくらいいますか。(Oは1つだけ)

- 1. 喫煙者はいない
- 2. 2割未満
- 3. 2割以上~5割未満
- 4. 5割以上
- 5. 把握していない

問 30. 船員保険では、スマートフォンアプリと禁煙補助剤を利用して禁煙を支援する、オンライン禁煙プログラムを無料で提供しています。こうした取り組みについてご存じですか。(〇は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

問 31. あなたの会社(船)において、禁煙を希望する方がいた場合、このサービスを利用させてみたいと思いますか。(Oは1つだけ)

1. 利用させてみたいと思う

2. 利用させてみたいとは思わない

)

問 32. 自社(船)の船員の健康づくりに取り組むことは、どのような理由で重要だとお考えですか。(Oは1つだけ)

- 1. 生産性(作業効率)の向上
- 2. 病気による休職・離職の防止
- 3. 船員の満足度の向上
- 4. 会社のイメージの向上(採用活動への影響)
- 5. その他(具体的に:
- 6. 重要だと考えていない

裏面へお進みください

(問33.~問36.は、全員がお答えください)

問 33. あなたは、日頃、船員保険のサービス、イベント、お知らせや活動状況などの情報 を主にどこから入手していますか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。 (〇は主なものを3つまで)

- 1. 船員保険のパンフレット
- 2. メールマガジン (うみがめ~る)
- **3**. 新聞(専門・業界紙)
- 4. 船員保険部ホームページ
- 5. 全国健康保険協会船員保険部以外の業 9. わからない 界団体からの情報
- 6. 他の船舶所有者からの情報
- 7. その他 (具体的に:)
- 8. 船員保険の情報を入手していない

自由意見欄

問34.その他、健康づくりに関して、ご意見、ご要望などがございましたら、どのようなこ とでも結構ですので、下の回答欄に、ご自由にご記入ください。

最後に、所有されている船舶の状況等についておたずねします。 ※調査結果を統計的に分析するために必要となります。ご回答をお願いいたします。

問 35. あなたの会社の所有している船(またはあなたの船)の事業内容を教えてください。 (Oは1つだけ)

1. 外航船

4. 漁船

2. 内航船(旅客船)

5. 引き船 (タグボート)

3. 内航船(貨物船)

6. その他(

問 36. あなたの会社(船)の従業員のうち、船員保険の被保険者数(記入日現在)を教えて ください。(Oは1つだけ)

- **1.** $1 \sim 4$ 人 **2.** $5 \sim 9$ 人 **3.** $10 \sim 19$ 人 **4.** $20 \sim 49$ 人 **5.** 50 人以上

)

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は2月7日(金)までに、同封の返信用封筒(切手不要)でご返送くだ さい。

船員保険事業(健康づくりの支援)に関するアンケート 報告書(船舶所有者調査)

令和2年3月

【調査主体】 全国健康保険協会 船員保険部

〒102-8016

東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング14階 電話 03-6862-3061

【調査機関】 株式会社サーベイリサーチセンター

〒116−8581

東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

電話 03-3802-6711